



# **PAT-LIST-GLS**

シソーラス辞書ソフト  
簡単ガイド

第二版 2014年 11月 14日

株式会社レイテック

Windows 7®、Windows 8®、Microsoft® Office®、Microsoft® Excel®は、Microsoft Corp.の登録商標です。

## 目次

はじめに	-----	
<b>第1章 本ソフトの概要</b>	-----	1 - 1
1.1 本ソフトの機能	-----	1 - 1
1.1.1 機能構成	-----	1 - 1
1.2 本ソフトの稼働環境	-----	1 - 1
1.2.1 ハード仕様(標準)	-----	1 - 1
1.2.2 処理の限界値	-----	1 - 1
1.3 PAT-LIST-JPSからPAT-LIST-GLSへ移行する前に	-----	1 - 1
1.4 シソーラス辞書ソフト操作の前に	-----	1 - 2
1.4.1 シソーラス辞書取込用のデータを作成します	-----	1 - 2
1.4.2 TPLファイルから取込可能な項目	-----	1 - 2
<b>第2章 操作手順</b>	-----	2 - 1
2.1 操作手順(概要)	-----	2 - 1
2.2 画面の種類及び各部の名称	-----	2 - 2
2.2.1 シソーラス辞書画面の機能	-----	2 - 3
2.2.2 辞書選択画面	-----	2 - 4
2.2.3 シソーラス辞書画面中の項目選択(詳細)	-----	2 - 5
<b>第3章 新しい辞書の作成</b>	-----	3 - 1
3.1 シソーラス辞書ソフトの起動	-----	3 - 1
3.1.1 デスクトップのショートカットアイコンから起動する方法	-----	3 - 1
3.1.2 TPLファイルのマップ操作画面から起動する方法	-----	3 - 1
3.2 出願人名寄せ辞書の作成	-----	3 - 2
3.2.1 新規辞書の作成	-----	3 - 2
3.2.2 TPLからの辞書作成	-----	3 - 3
3.3 分類(Fターム)辞書の作成	-----	3 - 7
3.3.1 新規辞書の作成	-----	3 - 7
3.3.2 TPLからの辞書作成	-----	3 - 8
3.4 技術用語辞書の作成	-----	3 - 12
3.3.1 新規辞書の作成	-----	3 - 12
3.3.2 TPLからの辞書作成	-----	3 - 13
3.5 マーカー確認について	-----	3 - 17
3.6 辞書の保存と終了について	-----	3 - 17
<b>第4章 シソーラスを利用したマップ作成</b>	-----	4 - 1
4.1 出願人のシソーラス辞書を利用したマップ作成方法	-----	4 - 1
4.2 Fタームのシソーラス辞書を利用したマップ作成方法	-----	4 - 6
4.3 技術用語のシソーラス辞書を利用したマップ作成方法	-----	4 - 10
<b>改訂履歴</b>	-----	改 - 1

## はじめに

この度は、当社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
本マニュアルは、「シソーラス辞書ソフト」の機能と操作方法の説明のほか、PAT-LIST-GLSでのシソーラス辞書を活用したマップ作成方法について説明したものです。  
自分の知識を整理して体系化したい場合、技術用語集を作成して、データベース検索業務等の効率化を図りたい場合、あるいは特定の技術分野の専門家の方々による、本格的なシソーラス辞書作成などに、ご活用いただけます。



**左のようなマークがある場合、重要な注意事項を記述しています。**

## 注意事項

以下の場合には、お問い合わせに対する回答が出来ない場合があります。あらかじめご了承ください。

- 1 本製品で保証している動作環境以外でのお問い合わせ
- 2 本製品とは直接関係のないハードウェア、または他社製品に関するお問い合わせ
- 3 本製品を利用しているネットワーク管理や、ネットワーク機器の設定に関わる問題
- 4 サポート時間外のサポート、及びお客様への出張を伴うサポート

## 第1章 本ソフトの概要

本ソフトはPAT-LISTで作成したTPLファイルを使用した辞書の作成・更新はもちろん、TPLファイルを使用せずに単独で辞書を作成・更新することができます。技術用語、出願人名、権利者名、分類、備考欄等の処理が可能です。

また、3階層まで作成できますので、大項目・中項目・小項目の分類が可能です。

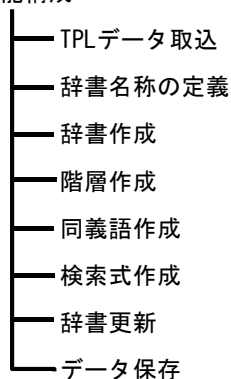
シソーラス辞書ソフトの主な特徴は以下の通りです。

- (1) 自分でシソーラス辞書を作成できます。
- (2) シソーラス辞書を作成するカテゴリとその範囲を自由に選択できます。
- (3) データベースの検索回答ファイルと情報源（用語の供給元）として使用できます。
- (4) 自分の経験（メモやファイル）を情報源（用語の供給元）として使用できます。
- (5) 単語同士に階層関係を持たせ、体系化できます（3階層）。
- (6) 各階層の単語それぞれに、同義語/類義語を登録できます。
- (7) シソーラス辞書の初期作成、更新作業ができます。
- (8) データベース用の検索式を作成できます。
- (9) PAT-LISTでマップ作成が容易にできます。
- (10) 作成したシソーラス辞書は、書き出し機能により他のPCと辞書の共有化が図れます。

### 1.1 本ソフトの機能

#### 1.1.1 機能構成

##### ● 機能構成



##### ● データの入力方法

使用文字コード  
Sift-JIS  
Unicode  
全角・半角の制限はありません。

### 1.2 本ソフトの稼動環境

#### 1.2.1 ハード仕様(標準)

PAT-LISTの稼動する、ハードウェアにおいて稼動します。

具体的には、Windows7、Windows8等です。

#### 1.2.2 処理の限界値

PAT-LISTにより作成される、TPLファイルの件数で決まります。

### 1.3 PAT-LIST-JPSからPAT-LIST-GLSへ移行する前に

PAT-LIST-JPSからPAT-LIST-GLSへ移行する場合、JPSで作成したシソーラス辞書のデータを書き出し、保存しておく必要があります。

## 1.4 シソーラス辞書ソフト操作の前に

### 1.4.1 シソーラス辞書取込用のデータを作成します

PAT-LIST-の所定の手順により、TPLファイルを作成します。

CSVや、テキストデータからも取り込むことができます。

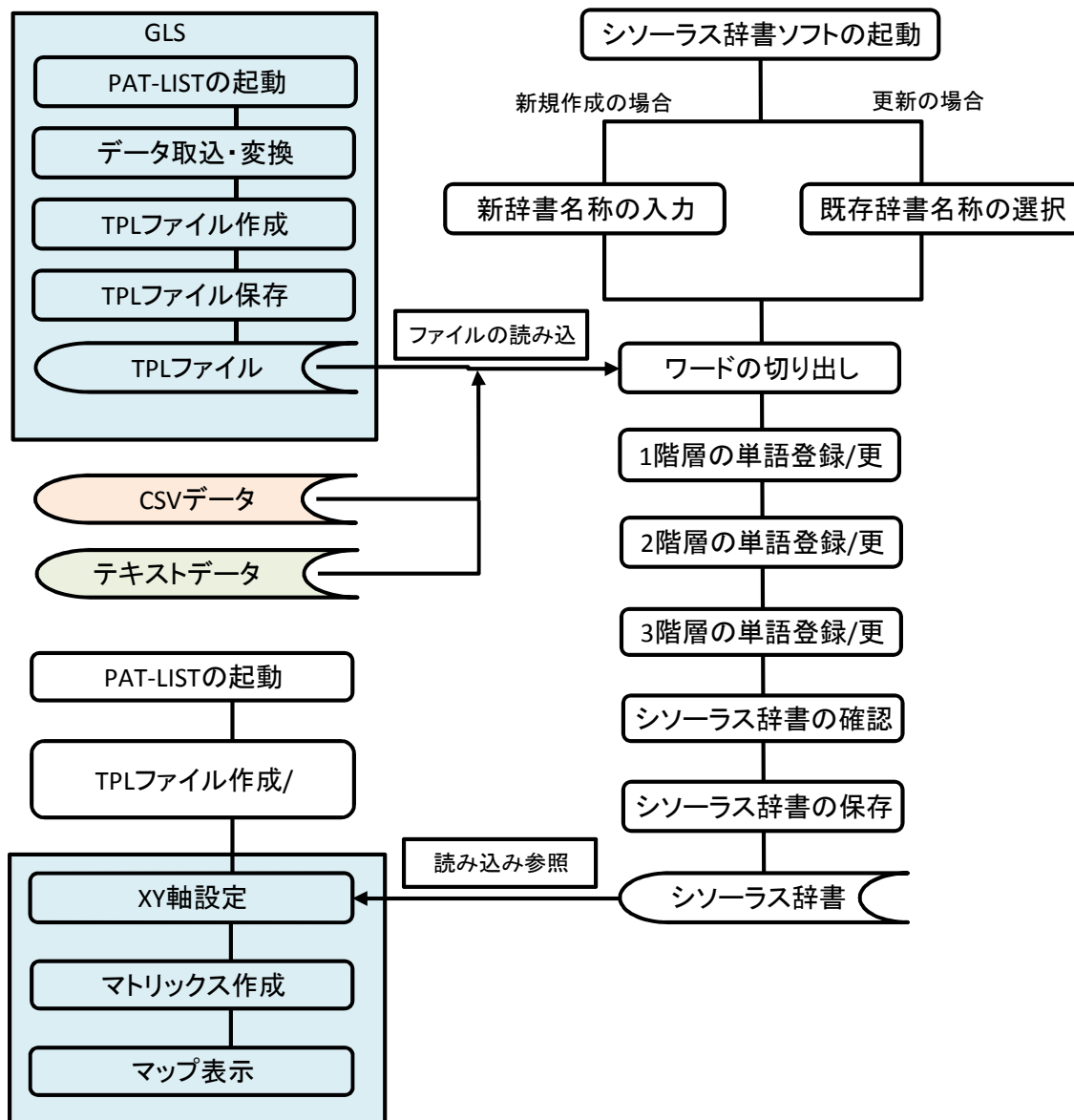
### 1.4.2 TPLファイルから取込可能な項目

統合タグ	JPタグ	USタグ
出願人	出願人	出願人
分類	権利者	分類
発明の名称	分類	発明の名称
抄録	発明の名称	抄録
請求範囲	抄録	クレーム(統合)
備考	請求範囲	主要クレーム
	詳細な説明	その他のクレーム
	抄録+請求範囲+効果	公開主要クレーム
	全文	公開その他クレーム
	備考	備考

ESタグ	EW・ECタグ	CNタグ
出願人	出願人	出願人
分類	分類	出願人代理人
発明の名称	発明の名称	特許事務所
抄録	抄録	分類
関連抄録1	関連抄録1	発明の名称
関連抄録2	関連抄録2	抄録
関連抄録3	関連抄録3	請求範囲
関連抄録4	関連抄録4	経過情報
請求範囲	備考	備考
明細書		
法的状態		
備考		

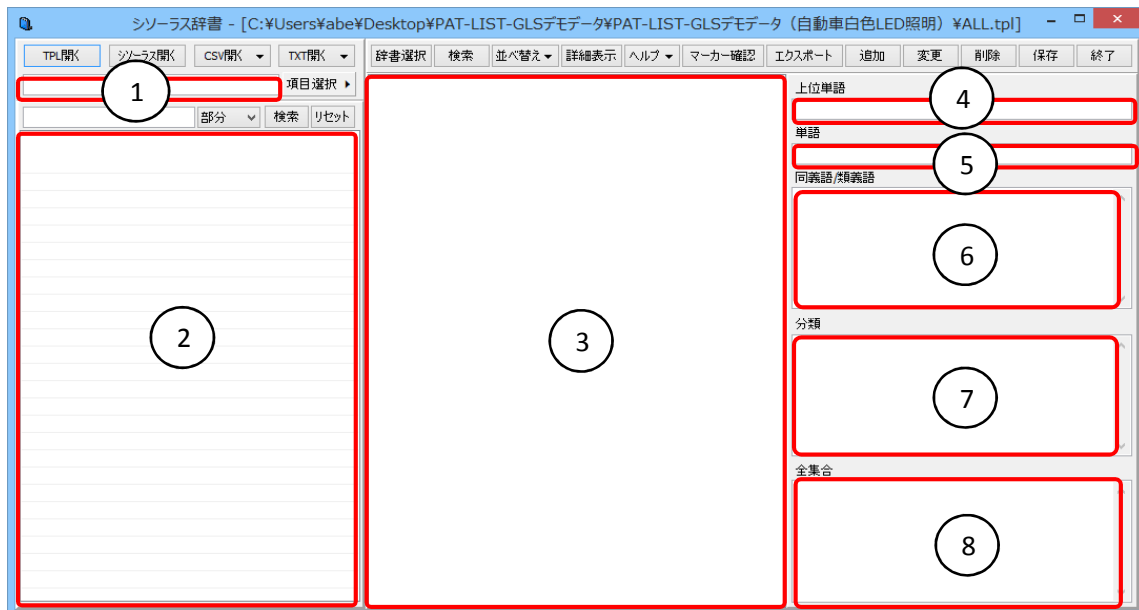
第2章 操作手順

2.1 操作手順(概要)



## 2.2 画面の種類および各部の名称

シソーラス辞書ソフトの画面は、大きく次のような区画に分けられています。

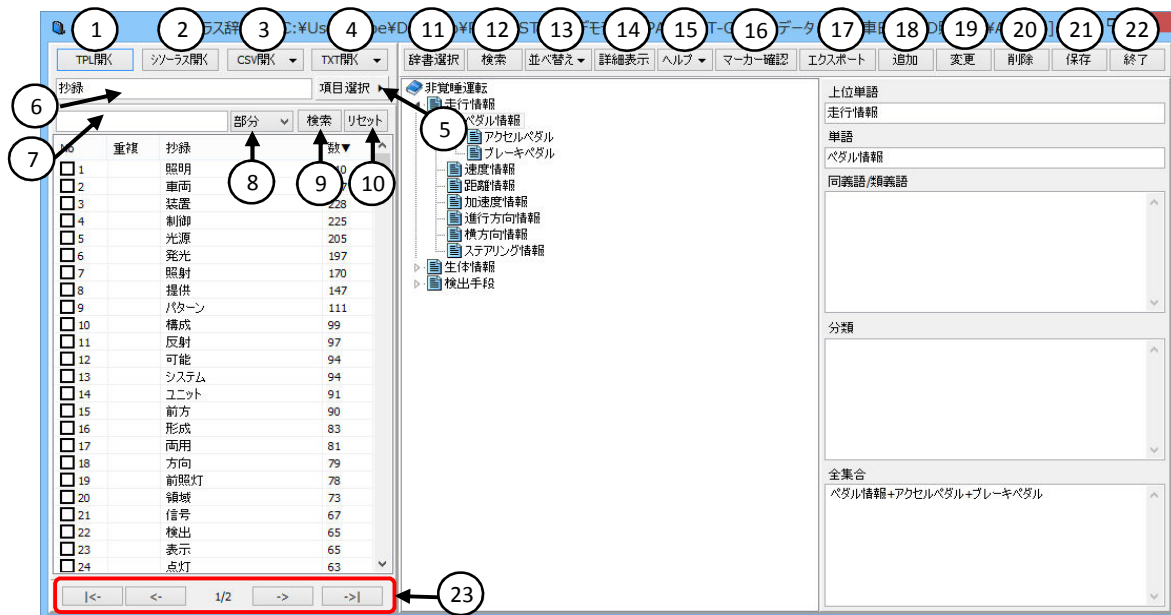


NO	表示内容
1	TPL開くを選択した場合のみ表示されます。単語を切り出す際、どのタグからどの項目を切り出すかを選択します。
2	切出された単語もしくは、CSV・テキストデータの単語リストが表示されます。
3	このフィールドにドラッグして単語を登録します。登録した単語がツリー形式で表示されます。
4	登録単語一覧③で選択した単語の上位単語が表示されます。
5	登録単語一覧③で選択した単語が表示されます。
6	登録単語一覧③で選択した単語の同義語/類義語が表示されます。
7	登録単語一覧③で選択した単語の分類番号が表示されます。
8	登録単語一覧③で選択した単語と同義語/類義語、下位階層の単語と同義語/類義語のすべての集合が表示されます。



2.2.1 シソーラス辞書画面の機能

シソーラス辞書ソフトは、次に示す画面を中心に操作を行います。



NO	名称	機能
1	TPL開くボタン	辞書作成するため、使用するPTLファイルを選択します。
2	シソーラス開くボタン	保存してあるシソーラス辞書データを開きます。
3	CSV開くボタン	辞書作成するため、元となるCSVファイルを選択します。
4	TXT開くボタン	辞書作成するため、元となるTEXTファイルを選択します。
5	項目選択ボタン	単語切出しの対象項目を選択します。(TPL開くボタン使用時のみ)
6	項目表示セル	⑤の[項目選択ボタン]で選択した項目の名称が表示されます。
7	検索入力セル	検索したい単語を直接入力できます。
8	単語一致選択ボタン	⑦の欄に入力した単語の検索方法を部分、前方、後方、完全から選択できます。
9	切出し語検索ボタン	⑦と⑧で指定した検索結果を表示します。
10	リセットボタン	検索前の初期状態に戻します。
11	辞書選択ボタン	「辞書選択」ウインドウを表示します。登録されている辞書一覧が出ます。
12	検索ボタン	「検索」画面に切替えます。
13	並べ替えボタン	辞書データを昇順または降順に並べ替えます。
14	詳細表示ボタン	登録単語をExcel形式で表示します。
15	ヘルプボタン	オンラインマニュアルを表示します。
16	マーカー確認ボタン	辞書に登録した単語にマーカーが付き、登録漏れの確認ができます。
17	エクスポートボタン	登録単語をCSVファイルに出力します。
18	追加ボタン	切り出し単語一覧で選択した単語を辞書の登録単語に追加します。「単語編集」ウインドウが表示され、登録単語の編集、確認、追加ができます。
19	変更ボタン	登録単語一覧で選択した単語を変更します。「単語編集」ウインドウが表示され、選択した登録単語の変更ができます。
20	削除ボタン	登録単語一覧で選択した単語を削除します。上位階層の単語を選択した場合、下位階層の単語群も一緒に削除されます。
21	保存ボタン	変更した辞書の内容を上書き保存します。
22	終了ボタン	シソーラス辞書を終了します。
23	<-<- ->>->  ボタン	切り出し単語一覧のページを切り替えます。

## 2.2.2 辞書選択画面

新しい辞書を登録する時、あるいは既登録の辞書の内容等を変更する時等に使用する画面です。  
[辞書選択]ボタンをクリックすると、「辞書選択」画面が表示されます。

NO	名称	機能
1	辞書名称一覧	登録してある辞書の一覧が表示されます。
2	コメント一覧	登録してあるコメントが表示されます。
3	辞書名称欄	登録する辞書の名前の入力、または、該当辞書の名前が表示されます。
4	コメント欄	登録するコメントの入力、または、該当辞書のコメントが表示されます。
5	追加ボタン	保存(書き出だし)した辞書を取り込みます。
6	書き出しボタン	登録されている辞書を、名前を付けてファイル保存します。ファイルの拡張子は、「.the」です。
7	インポートボタン	登録されている辞書を、名前を付けてファイル保存します。ファイルの拡張子は、「.csv」です。
8	新規ボタン	新たな辞書を作成します。
9	削除ボタン	選択した辞書を削除します。
10	変更ボタン	選択した辞書を変更します。
11	選択ボタン	選択した辞書を開きます。
12	閉じるボタン	辞書選択画面を終了します。

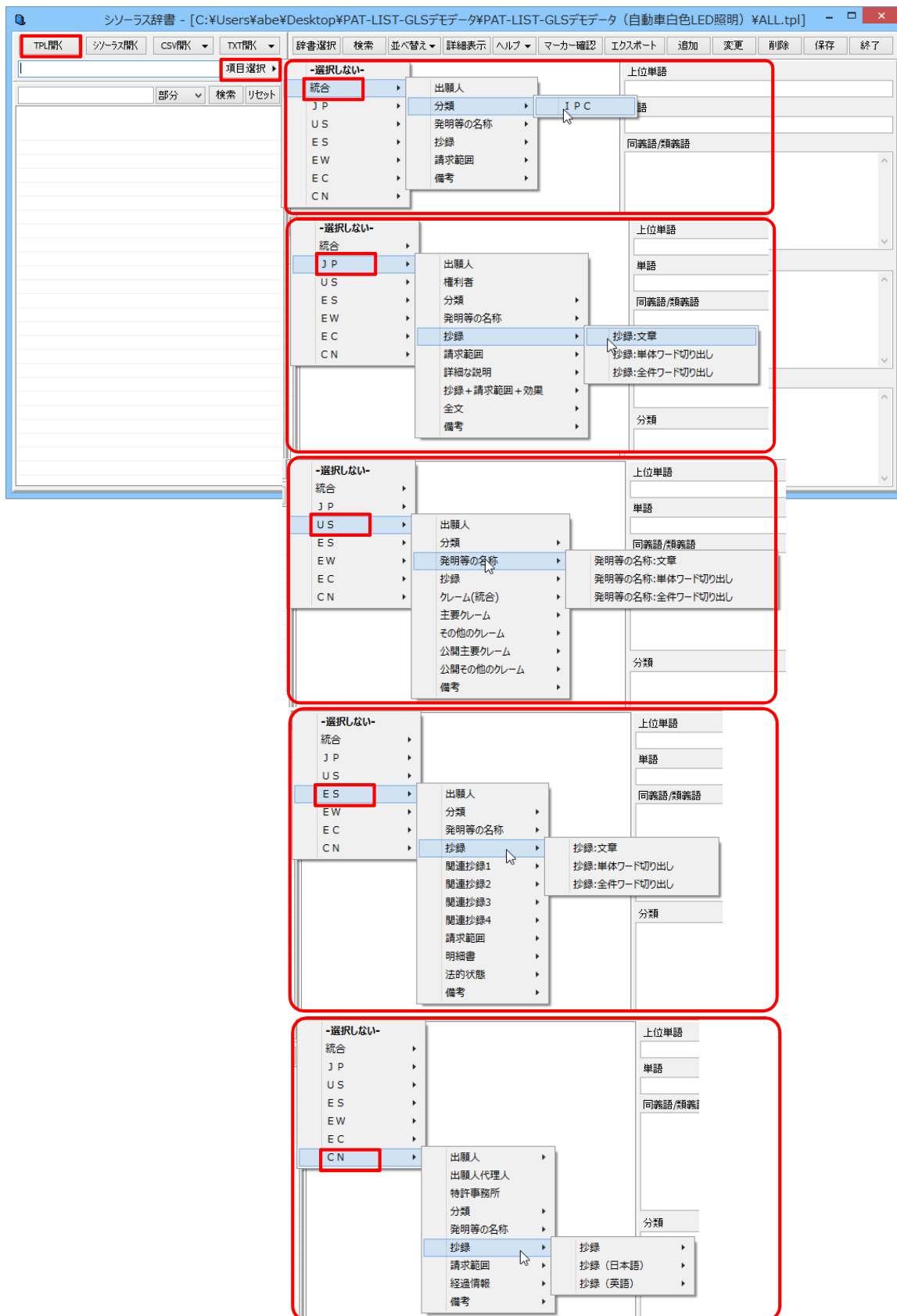


**PAT-LIST-JPSで作成したシソーラス辞書の取込が可能(追加)です。**  
あらかじめ、JPSのシソーラス辞書で辞書の書き出しを行い、保存した辞書ファイル(.the)を追加ボタンで読み込んでください。

### 2.2.3 シソーラス辞書画面中の項目選択(詳細)

単語選択のソースデータとして使用されるキーワードリストを作成する際、切出し処理対象項目および切出し条件を指定するメニュー画面です。(枠内が指定する時のイメージ画面)

項目選択は、TPLファイルの選択後に行います。



## 切り出し対象項目(統合タグ)

No	名 称	内 容	切り出し方法 *1
1	－選択しない－	項目を選択しない	---
2	出願人	出願人	----
3	分類	IPC	----
4	発明等の名称	発明等の名称	文章、単体ワード、全体ワード
5	抄録	抄録	文章、単体ワード、全体ワード
6	請求範囲	請求範囲	文章、単体ワード、全体ワード
7	備考	備考(全)	----
		備考1	----
		備考2	----
		備考3	----
		備考4	----
		備考5	----
		備考6	----
		備考7	----
		備考8	----
		備考9	----
		備考10	----
		備考11	----
		備考1,2層自動生成	----

## \*1:切り出し方法について

- ・文章: 1件毎に該当項目のテキスト文を、そのまま出力します。
- ・単体ワード切り出し: 1件毎に該当項目の中からワードを切り出します。
- ・全体ワード切り出し: 全件の該当項目の中からワードを切り出します。

## 切り出し対象項目 (JPタグ)

No	名称	内容	切り出し方法 *1
1	－選択しない－	項目を選択しない	---
2	出願人	出願人	----
3	権利者	権利者	----
4	分類	IPC	----
5		FI	----
6		Fターム	----
7	発明等の名称	発明等の名称	文章、単体ワード、全体ワード
8	抄録	抄録	文章、単体ワード、全体ワード
9	請求範囲	公開独立項請求範囲	文章、単体ワード、全体ワード
		公開請求範囲	文章、単体ワード、全体ワード
		登録独立項請求範囲	文章、単体ワード、全体ワード
		登録請求範囲	文章、単体ワード、全体ワード
10	詳細な説明	技術分野	文章、単体ワード、全体ワード
		従来技術	文章、単体ワード、全体ワード
		発明の課題	文章、単体ワード、全体ワード
		解決手段	文章、単体ワード、全体ワード
		実施の形態	文章、単体ワード、全体ワード
		発明の効果	文章、単体ワード、全体ワード
		図面の簡単な説明	文章、単体ワード、全体ワード
		符号の説明	文章、単体ワード、全体ワード
		全詳細な説明	文章、単体ワード、全体ワード
11	抄録+請求範囲+効果	抄録+請求範囲+効果	文章、単体ワード、全体ワード
12	全文	全文	文章、単体ワード、全体ワード
13	備考	備考(全)	----
		備考1	----
		備考2	----
		備考3	----
		備考4	----
		備考5	----
		備考6	----
		備考7	----
		備考8	----
		備考9	----
		備考10	----
		備考11	----
		備考1..2層自動生成	----

## \*1:切り出し方法について

- ・文章: 1件毎に該当項目のテキスト文を、そのまま出力します。
- ・単体ワード切り出し: 1件毎に該当項目の中からワードを切り出します。
- ・全体ワード切り出し: 全件の該当項目の中からワードを切り出します。

## 切り出し対象項目(USタグ)

No	名称	内容	切り出し方法 *1
1	ー選択しないー	項目を選択しない	----
2	出願人	出願人	----
3	分類	米国特許分類(統合)	----
		米国特許分類(主)	----
		米国特許分類(副)	----
		IPC(統合)	----
		IPC(主)	----
		IPC(副)	----
4	発明等の名称	発明等の名称	文章、単体ワード、全体ワード
5	抄録	抄録	文章、単体ワード、全体ワード
6	クレーム(統合)	クレーム(統合)	文章、単体ワード、全体ワード
7	主要クレーム	主要クレーム	文章、単体ワード、全体ワード
8	その他のクレーム	その他のクレーム	文章、単体ワード、全体ワード
9	公開主要クレーム	公開主要クレーム	文章、単体ワード、全体ワード
10	公開その他のクレーム	公開その他のクレーム	文章、単体ワード、全体ワード
11	備考	備考1	----
		備考2	----
		備考3	----
		備考4	----
		備考5	----
		備考6	----
		備考7	----
		備考8	----
		備考9	----
		備考10	----
		備考11	----
		備考1..2層自動生成	----

## \* 1: 切り出し方法について

- ・文章: 1件毎に該当項目のテキスト文を、そのまま出力します。
- ・単体ワード切り出し: 1件毎に該当項目の中からワードを切り出します。
- ・全体ワード切り出し: 全件の該当項目の中からワードを切り出します。

## 切り出し対象項目 (ESタグ)

No	名 称	内 容	切り出し方法 *1
1	ー選択しないー	項目を選択しない	----
2	出願人	出願人	----
3	分類	ECLA	----
		IPC(統合)	----
		IPC(主)	----
		IPC(副)	----
4	発明等の名称	発明等の名称	文章、単体ワード、全体ワード
5	抄録	抄録	文章、単体ワード、全体ワード
6	関連抄録1	関連抄録1	文章、単体ワード、全体ワード
7	関連抄録2	関連抄録2	文章、単体ワード、全体ワード
8	関連抄録3	関連抄録3	文章、単体ワード、全体ワード
9	関連抄録4	関連抄録4	文章、単体ワード、全体ワード
10	請求範囲	請求範囲	文章、単体ワード、全体ワード
11	明細書	明細書	文章、単体ワード、全体ワード
12	法的状態	法的状態	文章、単体ワード、全体ワード
13	備考	備考1	----
		備考2	----
		備考3	----
		備考4	----
		備考5	----
		備考6	----
		備考7	----
		備考8	----
		備考9	----
		備考10	----
		備考11	----
		備考1..2層自動生成	----

## \* 1: 切り出し方法について

- ・文章: 1件毎に該当項目のテキスト文を、そのまま出力します。
- ・単体ワード切り出し: 1件毎に該当項目の中からワードを切り出します。
- ・全体ワード切り出し: 全件の該当項目の中からワードを切り出します。

## 切り出し対象項目 (EW・ECタグ)

No	名称	内容	切り出し方法 *1
1	一選択しない	項目を選択しない	----
2	出願人	出願人	----
3	分類	ECLA	----
		IPC(統合)	----
		IPC(主)	----
		IPC(副)	----
4	発明等の名称	発明等の名称	文章、単体ワード、全体ワード
5	抄録	抄録	文章、単体ワード、全体ワード
6	関連抄録1	関連抄録1	文章、単体ワード、全体ワード
7	関連抄録2	関連抄録2	文章、単体ワード、全体ワード
8	関連抄録3	関連抄録3	文章、単体ワード、全体ワード
9	関連抄録4	関連抄録4	文章、単体ワード、全体ワード
10	請求範囲	請求範囲	文章、単体ワード、全体ワード
11	法的状態	法的状態	文章、単体ワード、全体ワード
12	備考	備考1	----
		備考2	----
		備考3	----
		備考4	----
		備考5	----
		備考6	----
		備考7	----
		備考8	----
		備考9	----
		備考10	----
		備考11	----
		備考1..2層自動生成	----

## \* 1: 切り出し方法について

- ・文章: 1件毎に該当項目のテキスト文を、そのまま出力します。
- ・単体ワード切り出し: 1件毎に該当項目の中からワードを切り出します。
- ・全体ワード切り出し: 全件の該当項目の中からワードを切り出します。



## 切り出し対象項目(CNタグ)

No	名称	内容	切り出し方法 *1
1	ー選択しないー	項目を選択しない	----
2	出願人	出願人	----
3	出願人代理人	出願人代理人	----
4	特許事務所	特許事務所	----
5	分類	IPC(主)	----
		IPC(副)	----
6	発明等の名称	発明等の名称	文章、単体ワード、全体ワード
		発明等の名称(日本語)	文章、単体ワード、全体ワード
		発明等の名称(英語)	文章、単体ワード、全体ワード
7	抄録	抄録	文章、単体ワード、全体ワード
		抄録(日本語)	文章、単体ワード、全体ワード
		抄録(英語)	文章、単体ワード、全体ワード
8	請求範囲	請求範囲	文章、単体ワード、全体ワード
		請求範囲(日本語)	文章、単体ワード、全体ワード
		請求範囲(英語)	文章、単体ワード、全体ワード
9	経過情報	経過情報	文章、単体ワード、全体ワード
		経過情報(日本語)	文章、単体ワード、全体ワード
		経過情報(英語)	文章、単体ワード、全体ワード
10	備考	備考(全)	----
		備考1	----
		備考2	----
		備考3	----
		備考4	----
		備考5	----
		備考6	----
		備考7	----
		備考8	----
		備考9	----
		備考10	----
		備考11	----
		備考1..2層自動生成	----

## \* 1: 切り出し方法について

- ・文章: 1件毎に該当項目のテキスト文を、そのまま出力します。
- ・単体ワード切り出し: 1件毎に該当項目の中からワードを切り出します。
- ・全体ワード切り出し: 全件の該当項目の中からワードを切り出します。

## 第3章 新しい辞書の作成

### 3.1 シソーラス辞書ソフトの起動

シソーラス辞書ソフトの起動方法はデスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックする方法と、TPLファイルのマップ操作画面から起動する方法の2種類あります。

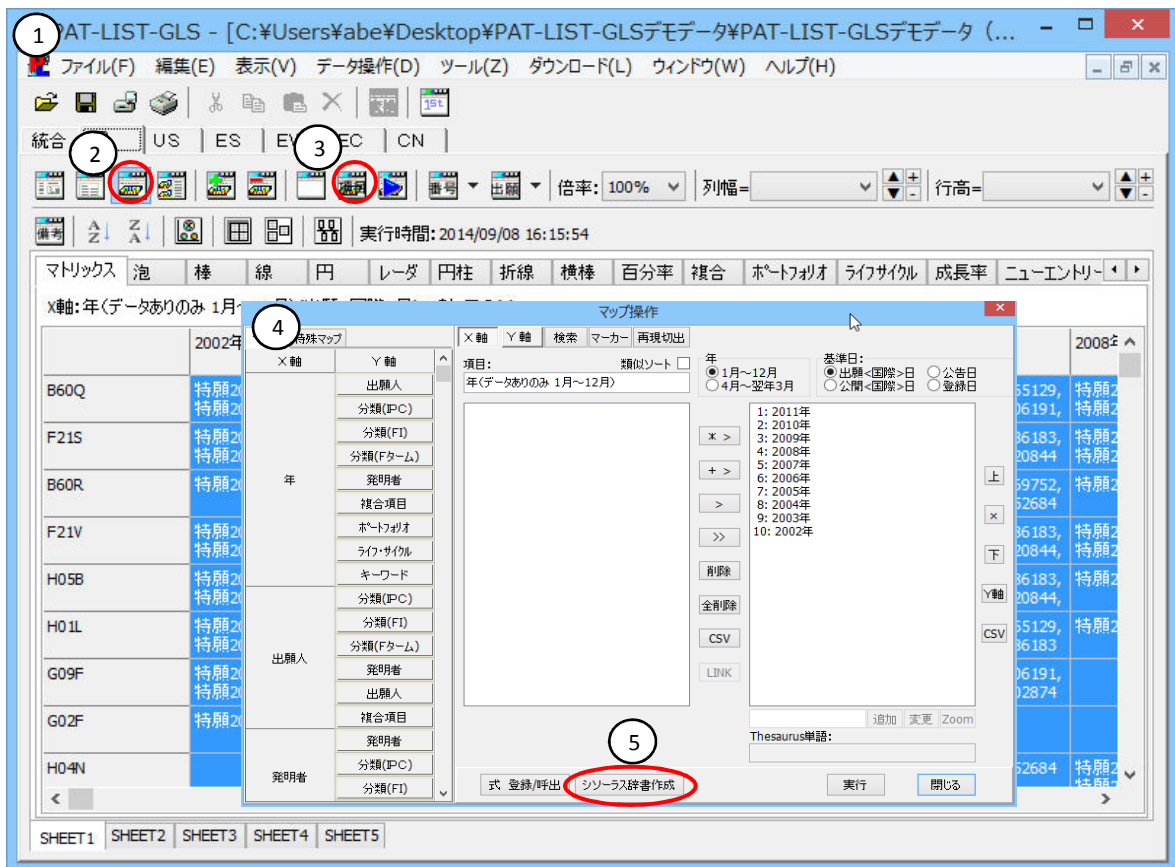
#### 3.1.1 デスクトップのショートカットアイコンから起動する方法

お使いのPCのデスクトップに作成されているシソーラス辞書ソフトのショートカット①をダブルクリックして、起動させます。



#### 3.1.2 TPLファイルのマップ操作画面から起動する方法

PAT-LIST-GLSを起動して①TPLファイルを開き、[マップ画面]ボタン②、[項目設定]ボタン③の順でクリックして「マップ操作」ウインドウ④をポップアップ表示し、「マップ操作」ウインドウ⑤の「シソーラス辞書作成」ボタン⑥をクリックすると、シソーラス辞書ソフトが起動して、「シソーラス辞書」ウインドウがポップアップ表示されます。



どちらも、辞書の機能は同じですが、TPLファイルと、シソーラス辞書を同時に使用できる1の方法がおすすめです。

### 3.2 出願人名寄せ辞書の作成

業界別に出願人データを名寄せしたシソーラス辞書の作成について、説明します。

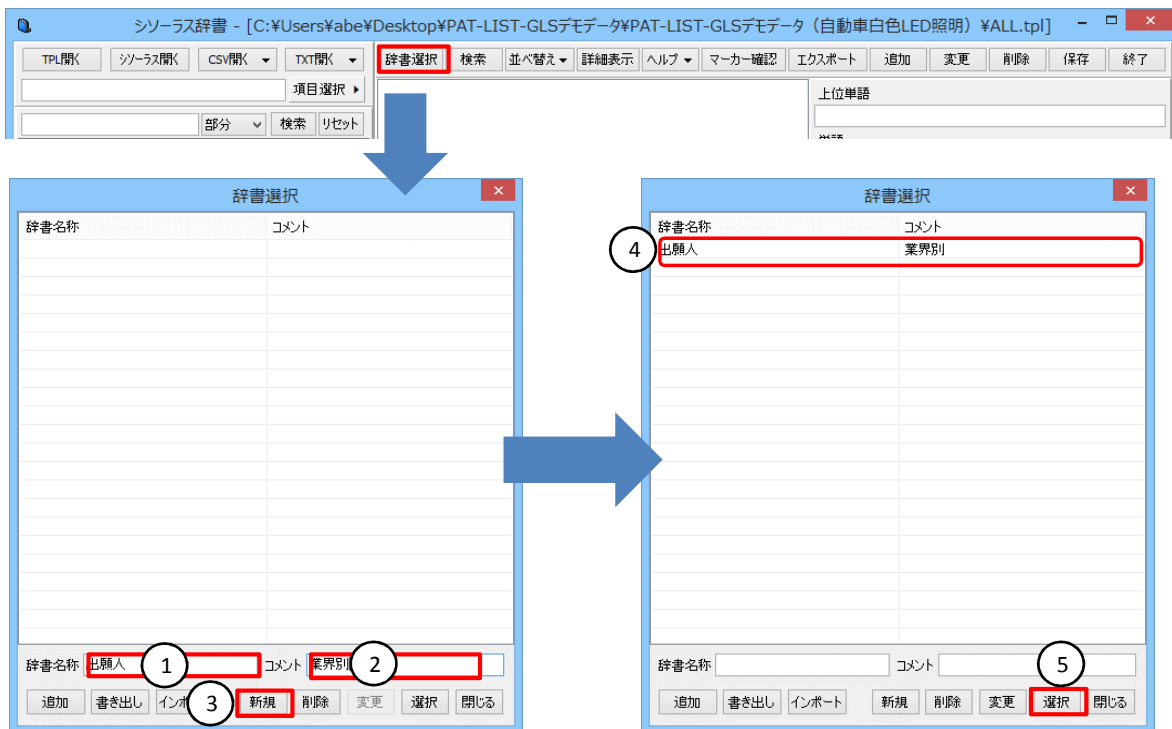
#### 3.2.1 新規辞書の作成

「シソーラス辞書」画面の[辞書選択]ボタンをクリックします。

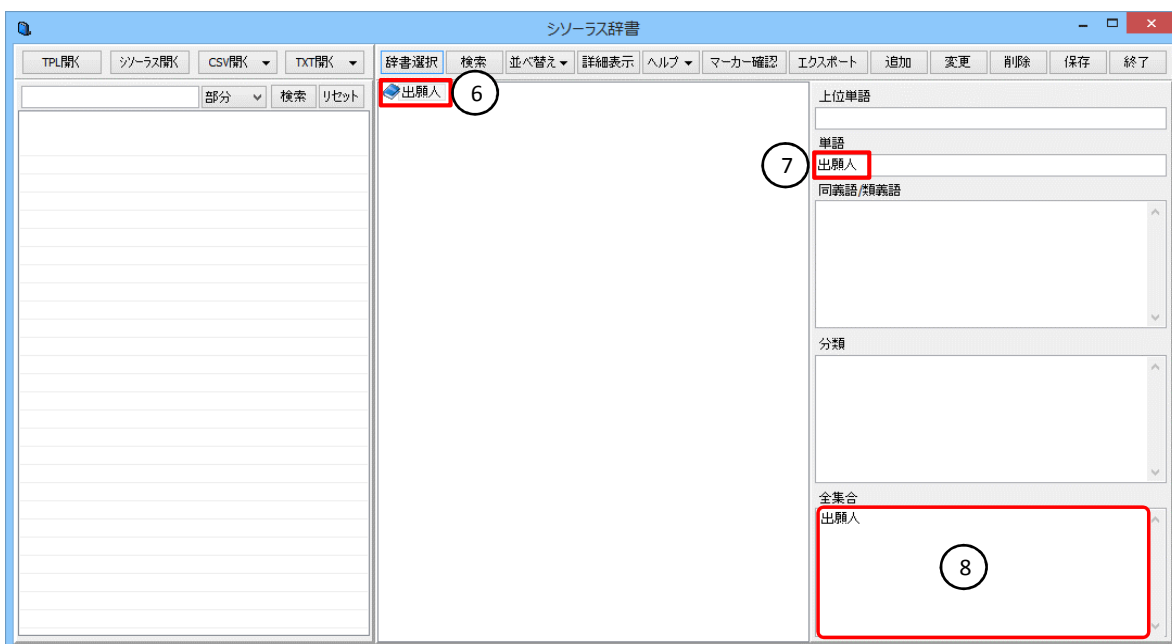
「辞書選択」ウインドウがポップアップ表示されます。

「辞書名称」欄①に新規登録する辞書の名称を、「コメント」欄②にコメントを入力し、「新規」③をクリックします。なお、コメントは必須ではありません。入力文字は、全角・半角どちらも使用できます。

辞書名称表示一覧の中から、登録した「辞書名称・コメント」行④をクリックし、「選択」ボタン⑤をクリックします。



選択した辞書の名称が、「シソーラス辞書」画面の「階層ツリー表示」欄の先頭⑥と「単語」欄⑦、「全集合」欄⑧に表示されます。



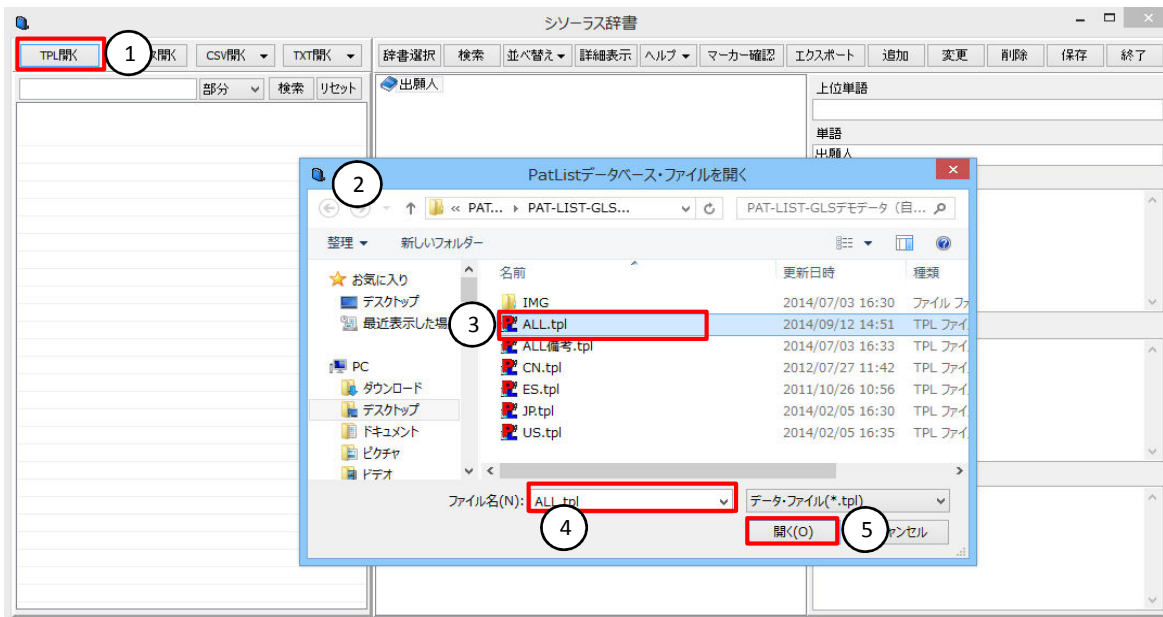
## 3.2.2 TPLからの辞書作成

辞書の選択が済みましたら、次に辞書作成の元となるデータの選択へ進みます。

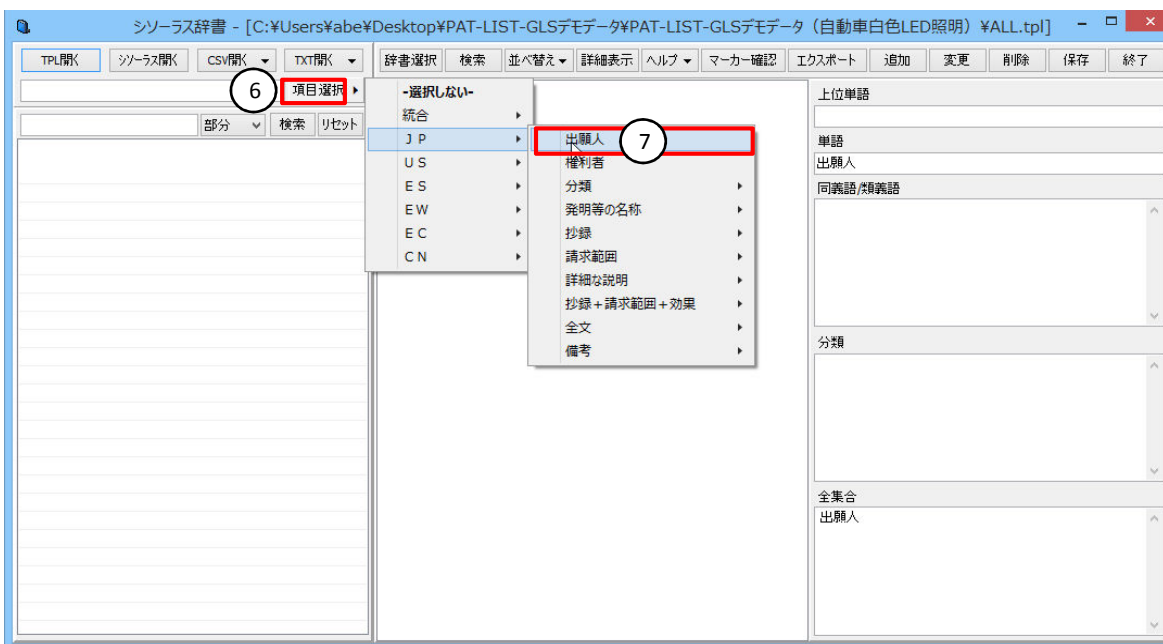
シソーラス辞書は、TPLファイルデータ、既存のシソーラス辞書データ、CSVデータ、TXTデータから作成することができます。CSVデータとTXTデータは、単語リストだけでなく、文書データからも辞書を作成できます。

1) 今回はTPLファイルから作成する場合を説明します。

[TPL開く]ボタン①をクリックします。「PatListデータベース・ファイルを開く」ウインドウ②が表示されます。使用するTPLファイル③を選択して、「ファイル名」欄④に表示されたことを確認した後、[開く]ボタン⑤をクリックします。



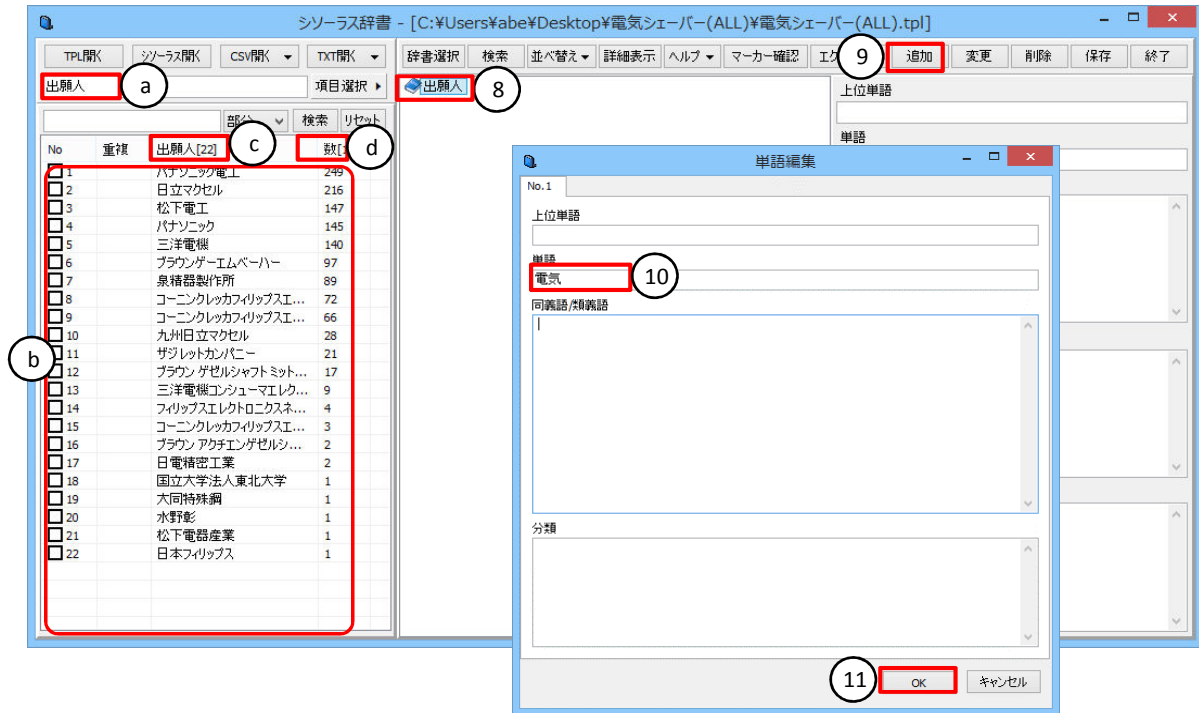
[項目選択]ボタン⑥をクリックし、項目一覧の中から単語を切り出す対象となる項目を選択します。下の図はJPタグの「出願人」⑦を選択しているところです。



選択した対象項目(a)から切り出された単語(b)が表示されます。

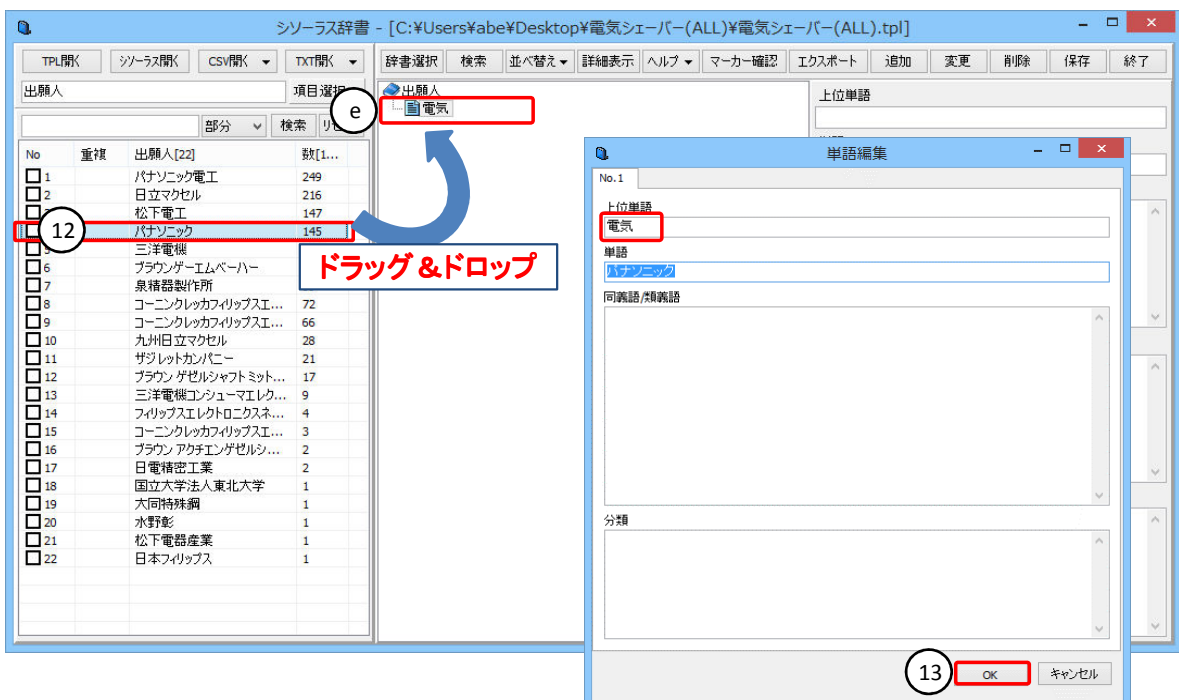
単語は、デフォルトでは、件数の多い順に並んでいます。切り出し単語一覧の見出し「出願人」(c)・「数」(d)の欄をクリックすることにより、単語の並べ方の昇順、降順を切り替えられます。

電気というグループ作成について説明します。第1階層に、「電気」を登録します。「出願人」⑧を選択し、[追加]ボタン⑨をクリックすると、ポップアップで「単語編集」画面が表示されますので、単語入力セル⑩に、“電気”と入力して、[OK]ボタン⑪をクリックします。



第1階層「電気」(e)が登録されます。

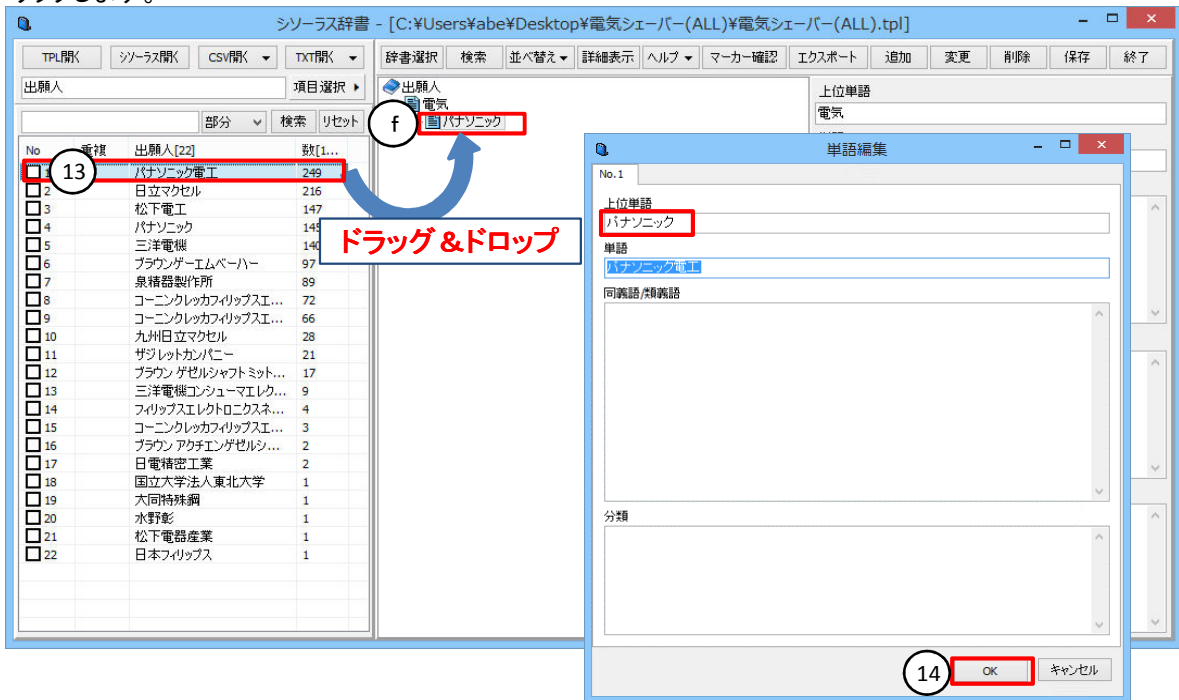
第2階層に、出願人名を登録するには、「パナソニック」⑫を選択して、「電気」(e)までドラッグ&ドロップします。単語編画面が開き、上位単語が「電気」になっていることを確認し、[OK]ボタン⑬をクリックします。



\* 出願人を複数選択するには、[Shift]キー、または、[Ctrl]キーを押しながらクリックします。選択する行が、離れている場合は、[Ctrl]キーを使用します。

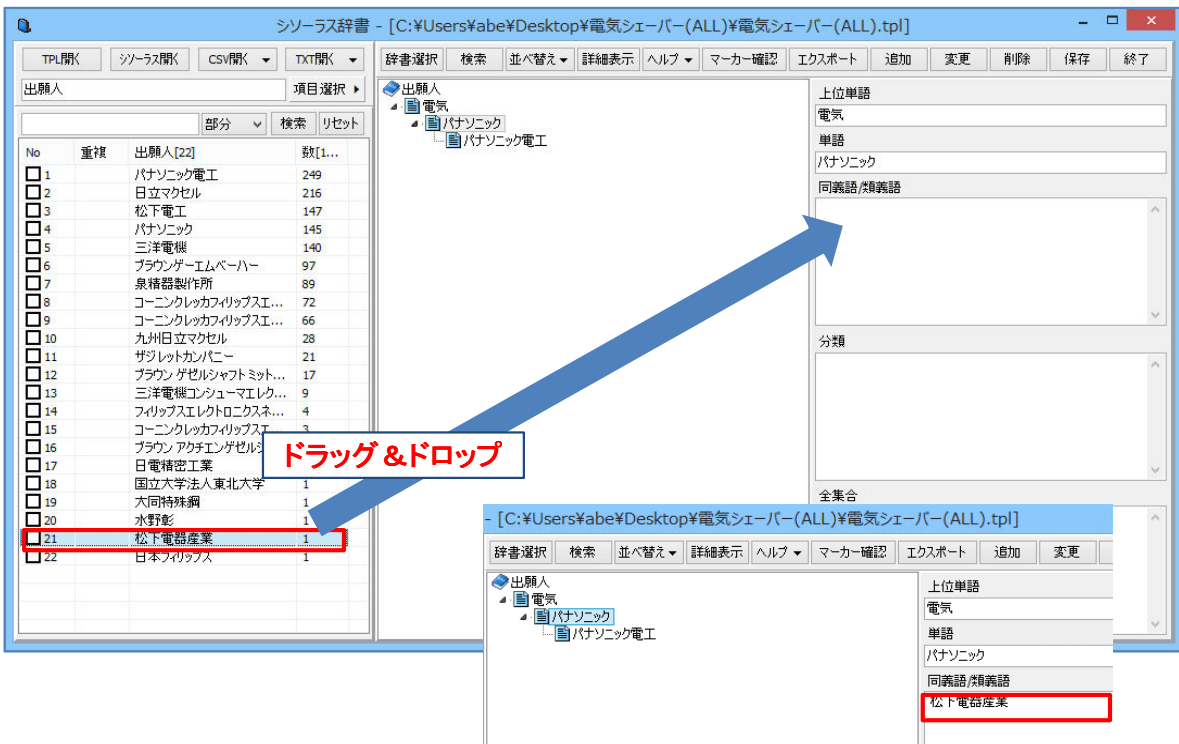
第2階層に「パナソニック」(f)が登録されます。

次に第3階層の子会社を登録します。「パナソニック電気」⑬をクリックし、「パナソニック」(f)までドラッグ&ドロップします。単語編画面が開き、上位単語が「パナソニック」になっていることを確認し、[OK]ボタン⑭をクリックします。



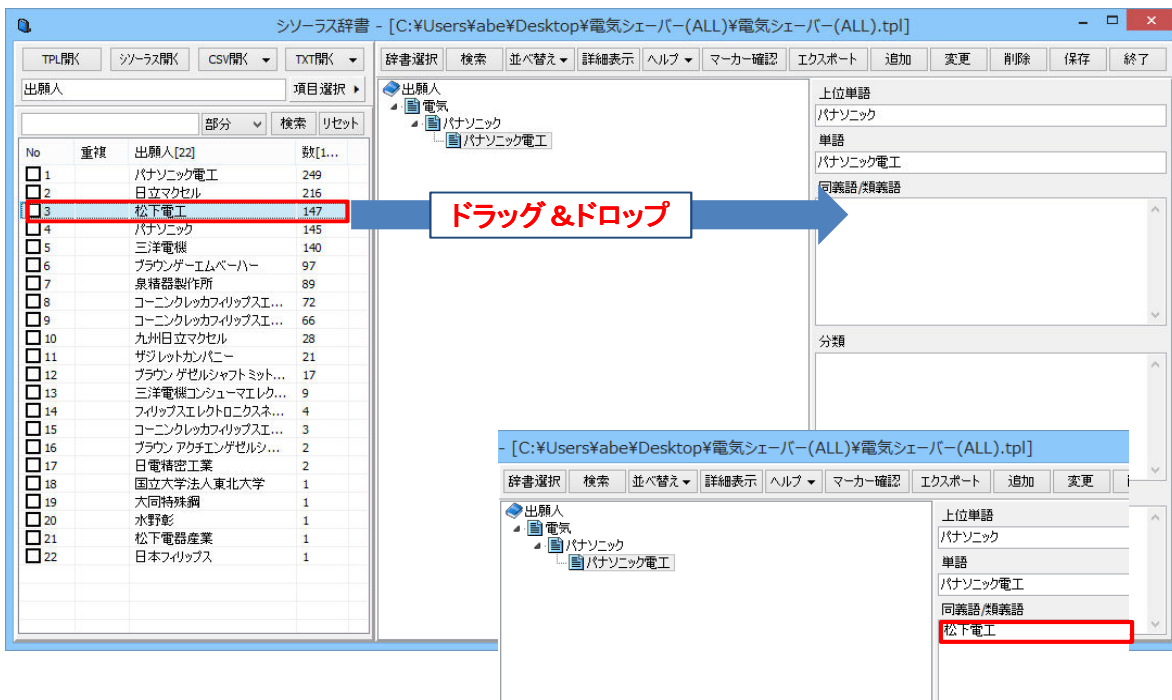
第3階層に「パナソニック電気」(g)が表示されます。

次に第2階層の「パナソニック」の同義語を登録します。パナソニックを選択した状態で、「松下電気産業」を同義語/類義語欄までドラッグ&ドロップします。



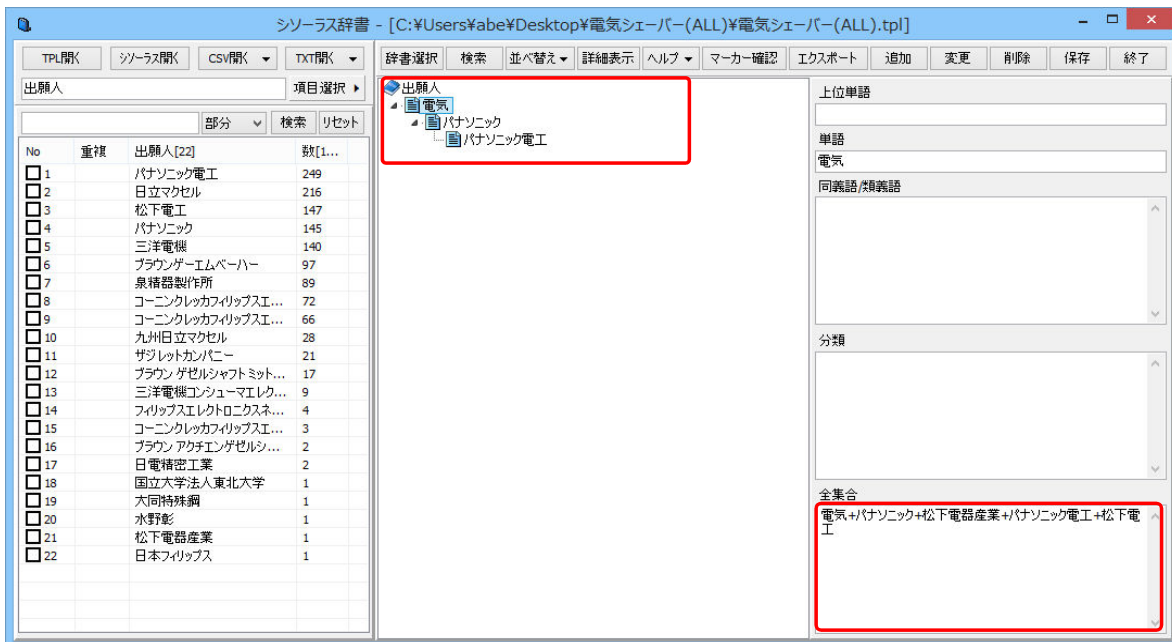


同様に第3階層の「パナソニック電工」の同義語を登録します。「パナソニック電工」を選択した状態で、「松下電工」を同義語/類義語欄までドラッグ＆ドロップします。



第1階層の電気を選択すると、下位階層の全集合が表示されます。このように、第1階層に業界、第2階層に出願人、第3階層に系列子会社、同義語/類義語に、旧社名や吸収合併した社名を入れると、利用しやすい辞書に、なります。

同様の操作を繰り返し、辞書を作成します。



### 3.3 分類(Fターム)辞書の作成

分類に説明文を付加してをシソーラス辞書を作成すると、説明文付のマップが簡単に作成できます。説明文はあらかじめメモ帳などに記載しておくことで、辞書にスムーズに書き込めます。

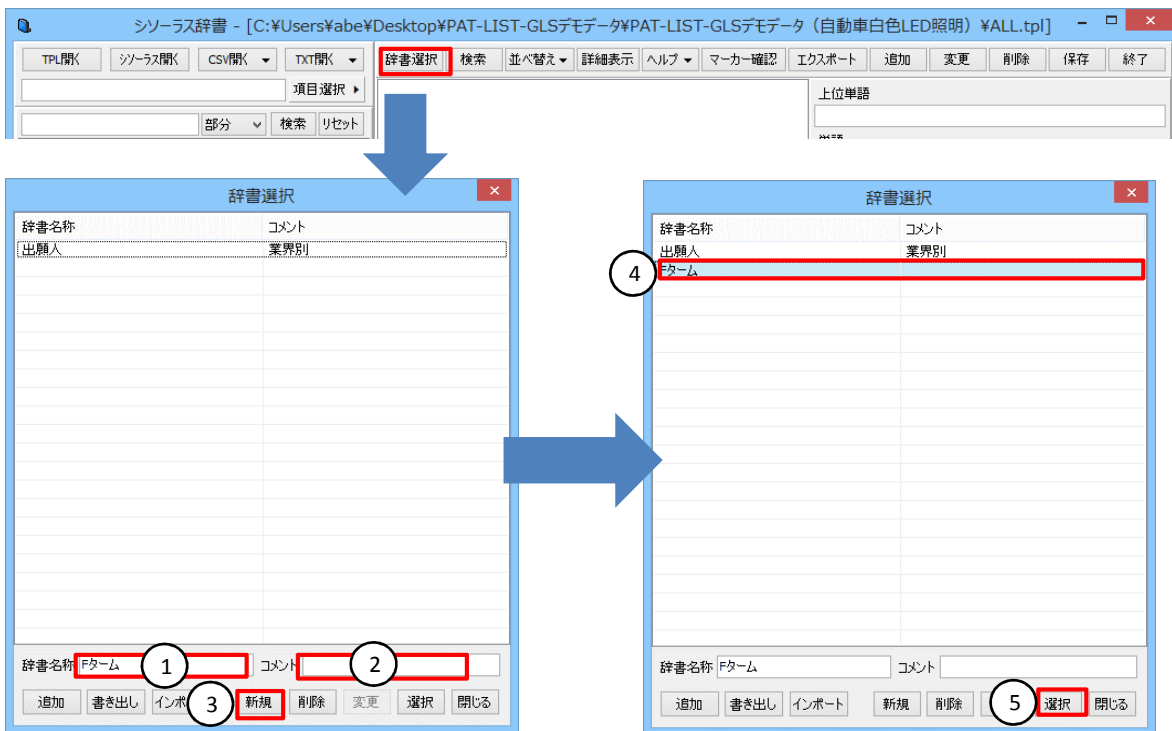
#### 3.3.1 新規辞書の作成

「シソーラス辞書」画面の[辞書選択]ボタンをクリックします。

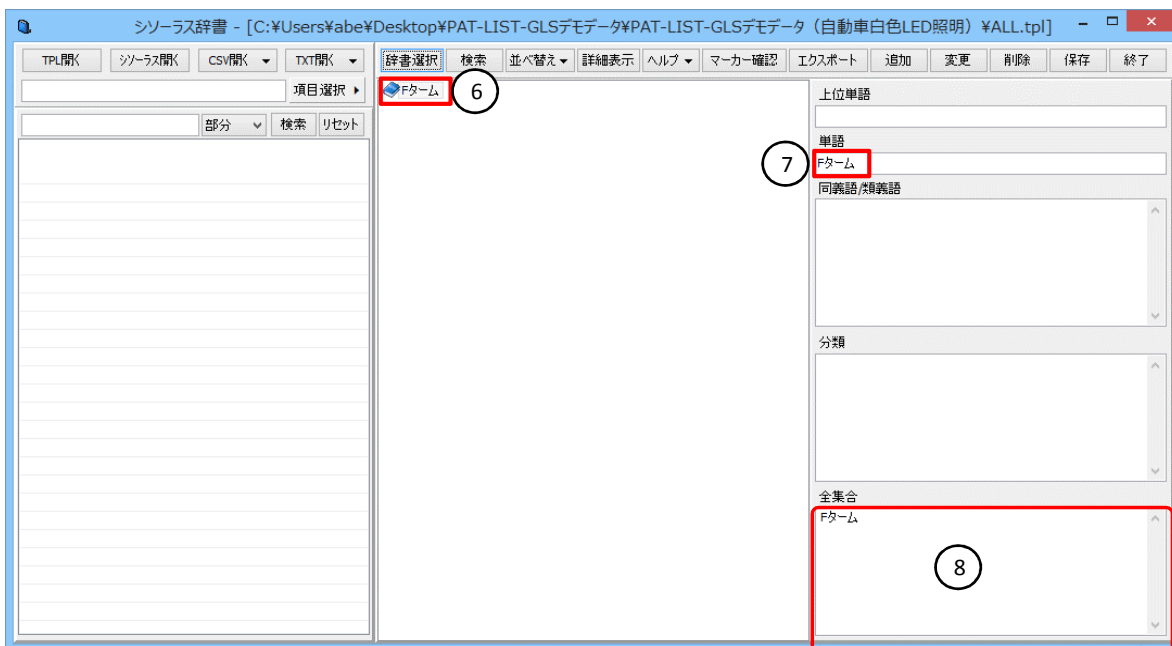
「辞書選択」ウインドウがポップアップ表示されます。

「辞書名称」欄①に新規登録する辞書の名称を、「コメント」欄②にコメントを入力します。なお、コメントは必須ではありません。入力文字は、全角・半角どちらも使用できます。

辞書名称表示一覧の中から、新規で登録した「辞書名称・コメント」行④をクリックし、「選択」ボタン⑤をクリックします。



選択した辞書の名称が、「シソーラス辞書」画面の「階層ツリー表示」欄の先頭⑥と「単語」欄⑦、「全集合」欄⑧に表示されます。





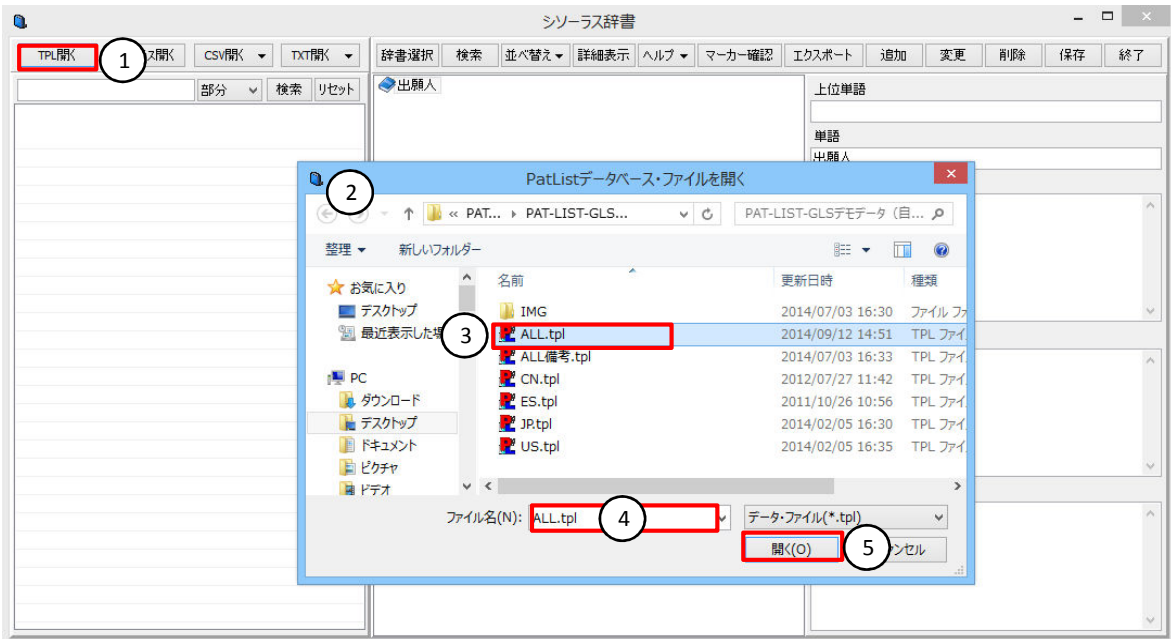
## 3.3.2 TPLからの辞書作成

辞書名称の選択が済みましたら、次に辞書作成の元となるデータの選択へ進みます。

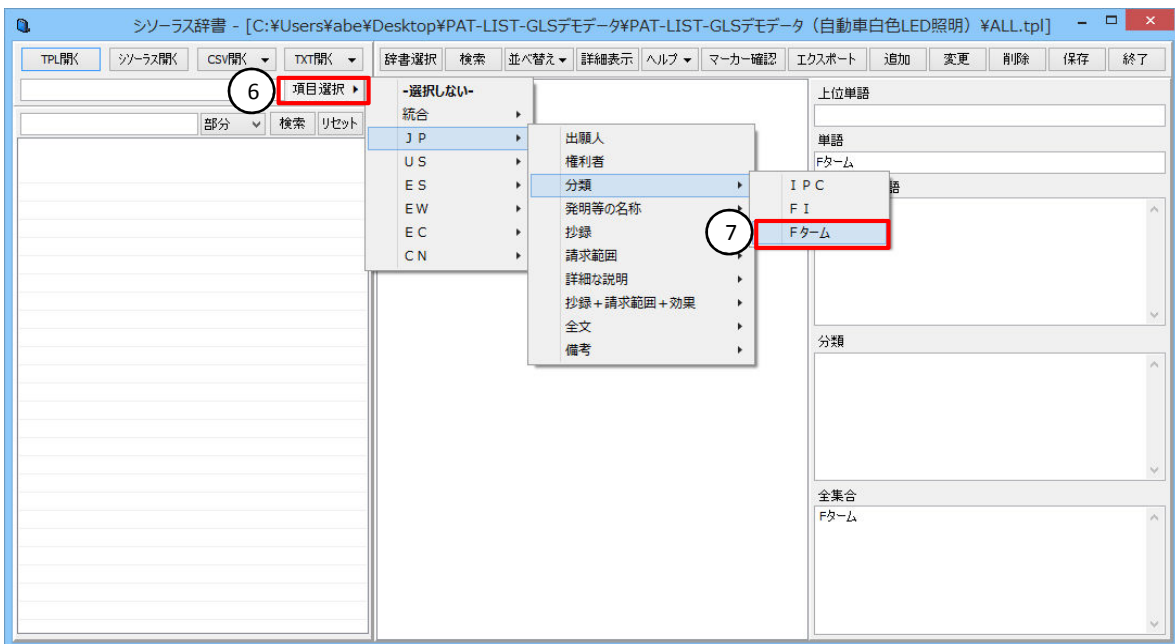
シソーラス辞書は、TPLファイルデータ、既存のシソーラス辞書データ、CSVデータ、TXTデータから作成することができます。CSVデータとTXTデータは、単語リストだけでなく、文書データからも辞書を作成できます。

1) 今回はTPLファイルから作成する場合を説明します。

[TPL開く]ボタン①をクリックします。「PatListデータベース・ファイルを開く」②が表示されます。使用するTPLファイル③を選択して、「ファイル名」欄④に表示されたことを確認した後、[開く]ボタン⑤をクリックします。



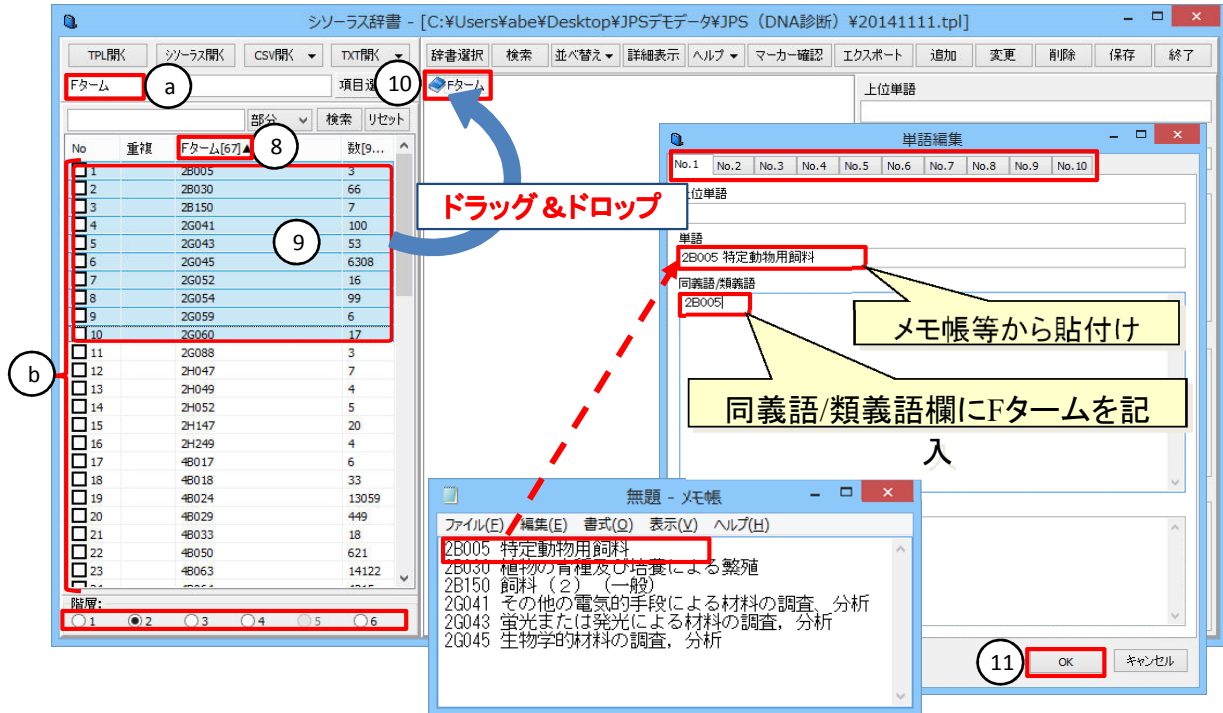
[項目選択]ボタン⑥をクリックし、項目一覧の中から単語を切り出す対象となる項目を選択します。下の図はJPタグの「Fターム」⑦を選択しているところです。



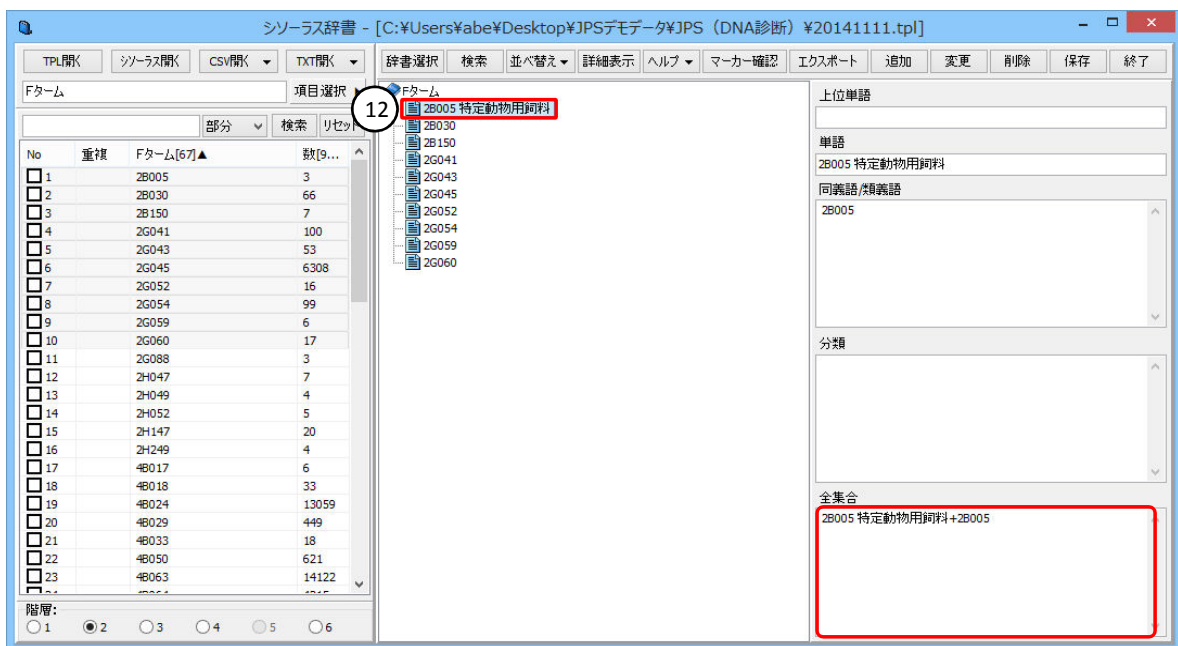
選択した対象項目(a)から切り出された単語(b)が表示されます。

単語は、デフォルトでは2階層表示、件数の多い順に並んでいます。下図では、[Fターム欄]⑧をクリックし、昇順に並べ替えています。

Fタームの「テーマコード」・「観点」・「Fタームセット」の3階層の辞書作成方法を説明します。第1階層に、「テーマコード」を登録します。「2B005～2G060」⑨を選択し、「Fターム」⑩までドラッグすると、ポップアップで「単語編集」画面が表示されます。単語入力セルのNo.1～No.10それぞれの単語欄に、メモ帳などに記載しておいた説明文をコピーして貼り付けます。No.1～No.10それぞれの同義語/類義語欄にFタームを記入し、[OK]ボタン⑪をクリックします。

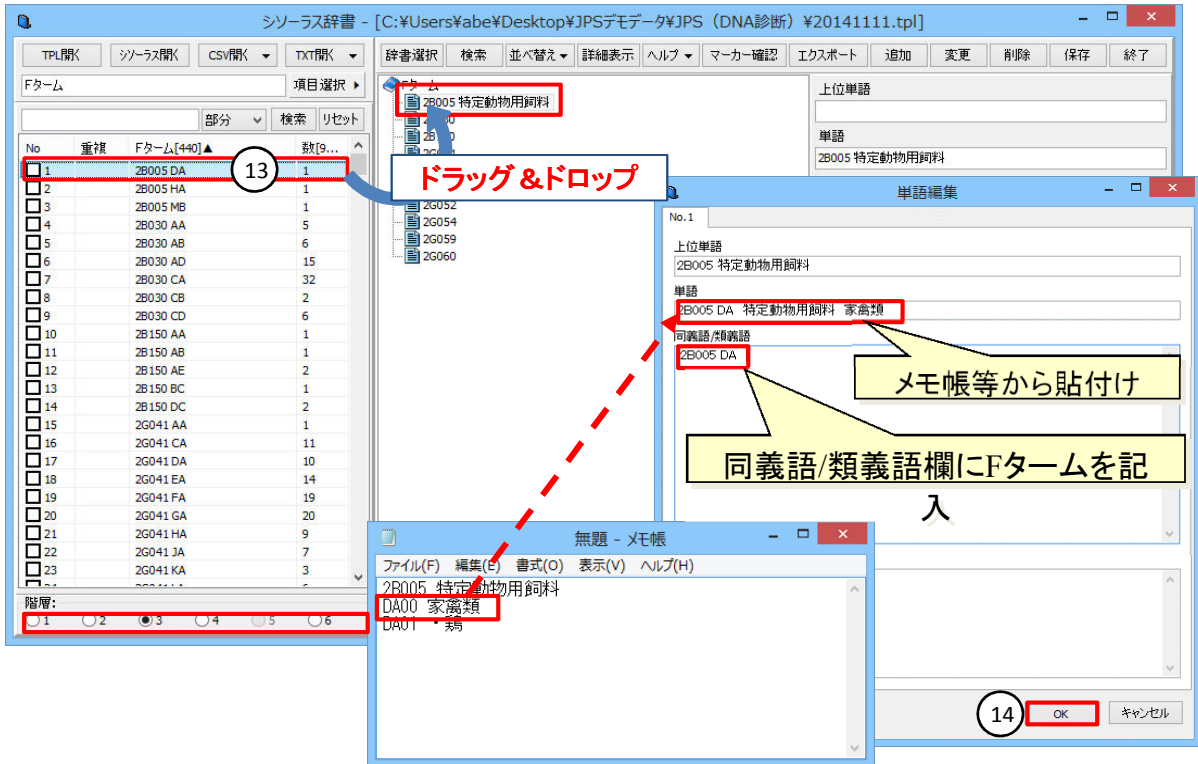


下の例のように、「2B005 特定動物用飼料」の階層ができます。

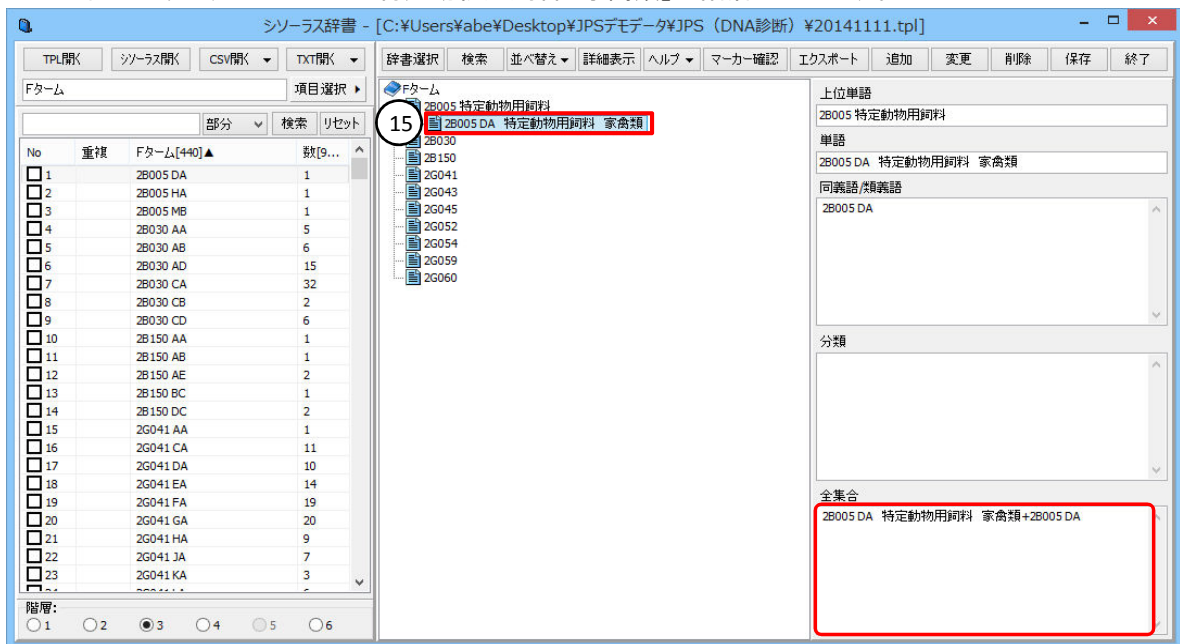


次に、第2階層の「観点」を登録します。  
階層表示を3階層に切り替え、Fターム欄をクリックし、昇順に並べ替えます。

「2B005 DA」⑬を選択し、「2B005 特定動物用飼料」までドラッグすると、ポップアップで「単語編集」画面が表示されます。単語入力セルの単語欄に、メモ帳などに記載しておいた説明文をコピーして貼り付けます。同義語/類義語欄にFタームを記入し、[OK]ボタン⑭をクリックします。

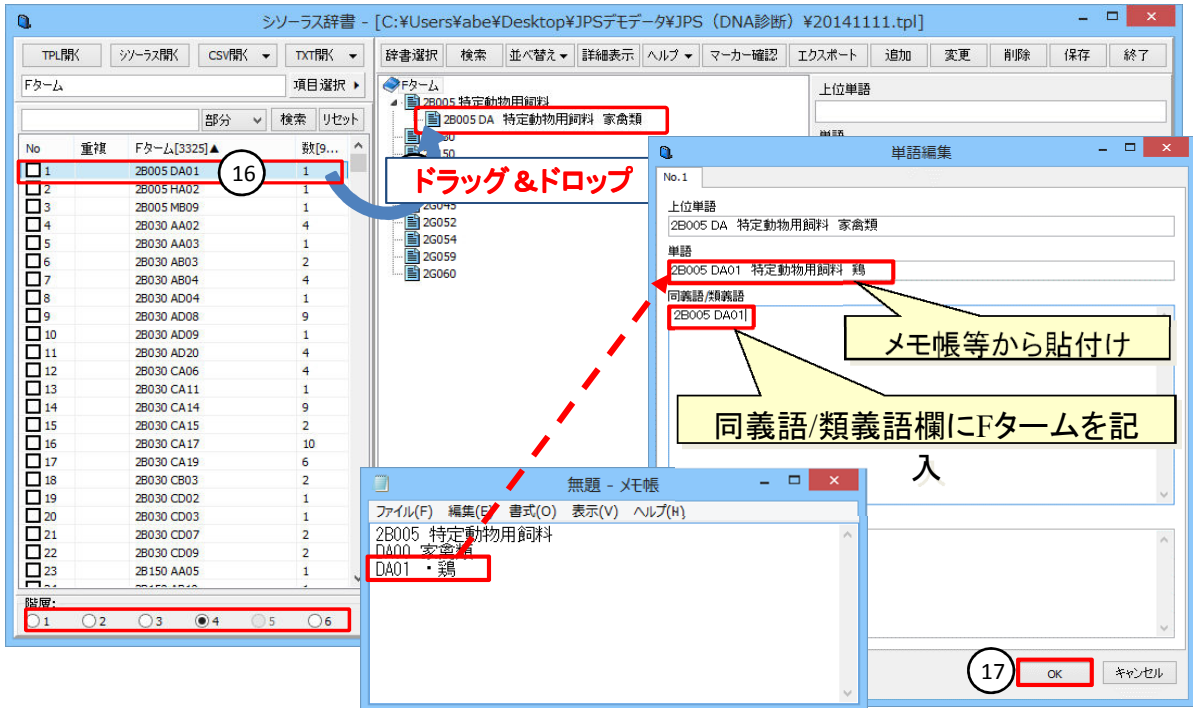


下の例のように、「2B005 DA 特定動物用飼料 家禽類」の階層ができます。

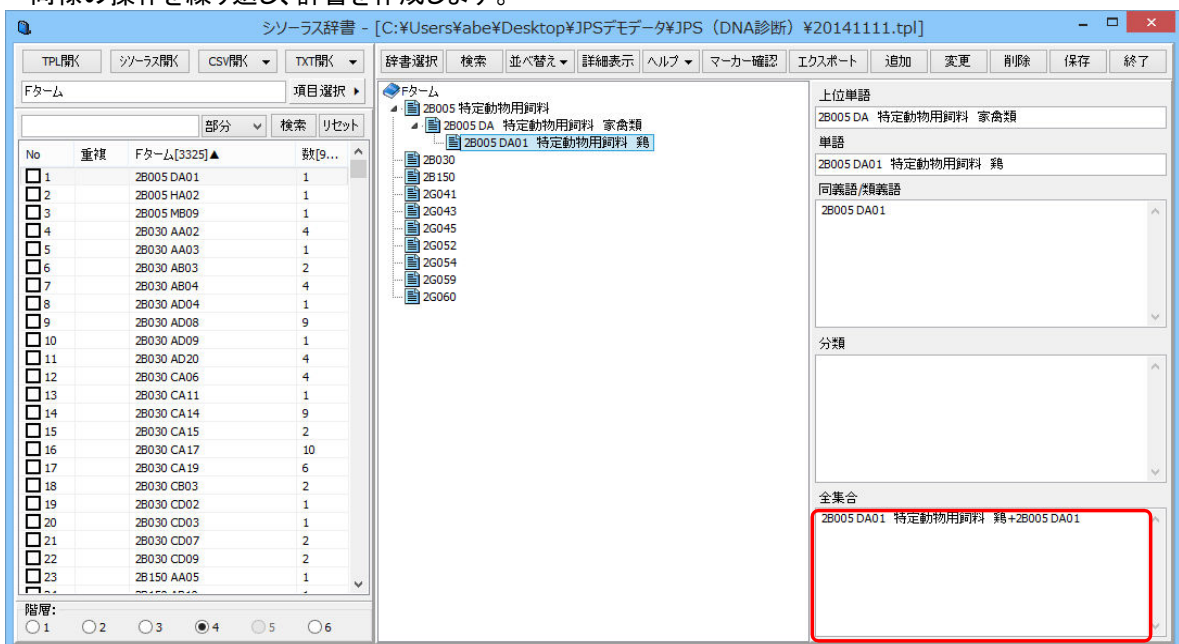


次に、第3階層を登録します。  
階層表示を4階層に切り替え、Fターム欄をクリックし、昇順に並べ替えます。

「2B005 DA01」⑬を選択し、「2B005 特定動物用飼料 家禽類」までドラッグすると、ポップアップで「単語編集」画面が表示されます。単語入力セルの単語欄に、メモ帳などに記載しておいた説明文をコピーして貼り付けます。同義語/類義語欄にFタームを記入し、[OK]ボタン⑭をクリックします。



下の例のように、「2B005 DA 特定動物用飼料 家禽類」の階層ができます。  
このように、分類と説明を入れた辞書を作成すると、マップ作成時に軸の編集に必要がなくなり、便利です。  
同様の操作を繰り返し、辞書を作成します。



### 3.4 技術用語辞書の作成

技術用語もシソーラス化しておくことで、マップ作成等の解析がやりやすくなります。

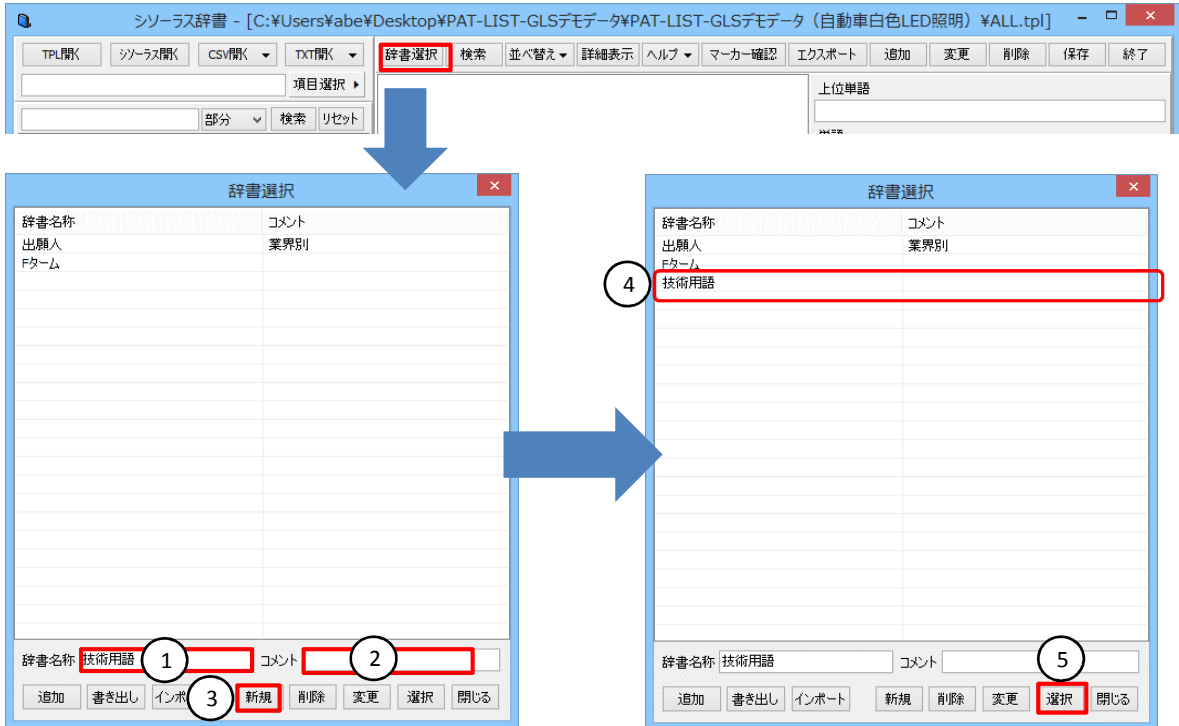
#### 3.4.1 新規辞書の作成

「シソーラス辞書」画面の[辞書選択]ボタンをクリックします。

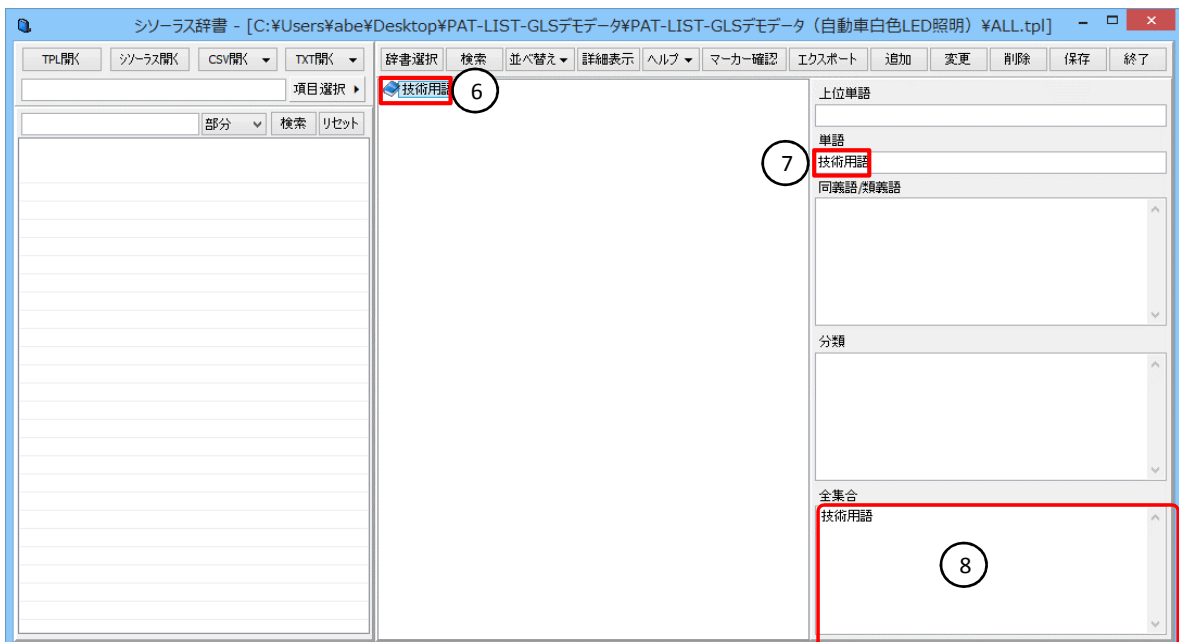
「辞書選択」ウインドウがポップアップ表示されます。

「辞書名称」欄①に新規登録する辞書の名称を、「コメント」欄②にコメントを入力します。なお、コメントは必須ではありません。入力文字は、全角・半角どちらも使用できます。

辞書名称表示一覧の中から、新規で登録した「辞書名称・コメント」行④をクリックし、「選択」ボタン⑤をクリックします。



選択した辞書の名称が、「シソーラス辞書」画面の「階層ツリー表示」欄の先頭⑥と「単語」欄⑦、「全集合」欄⑧に表示されます。





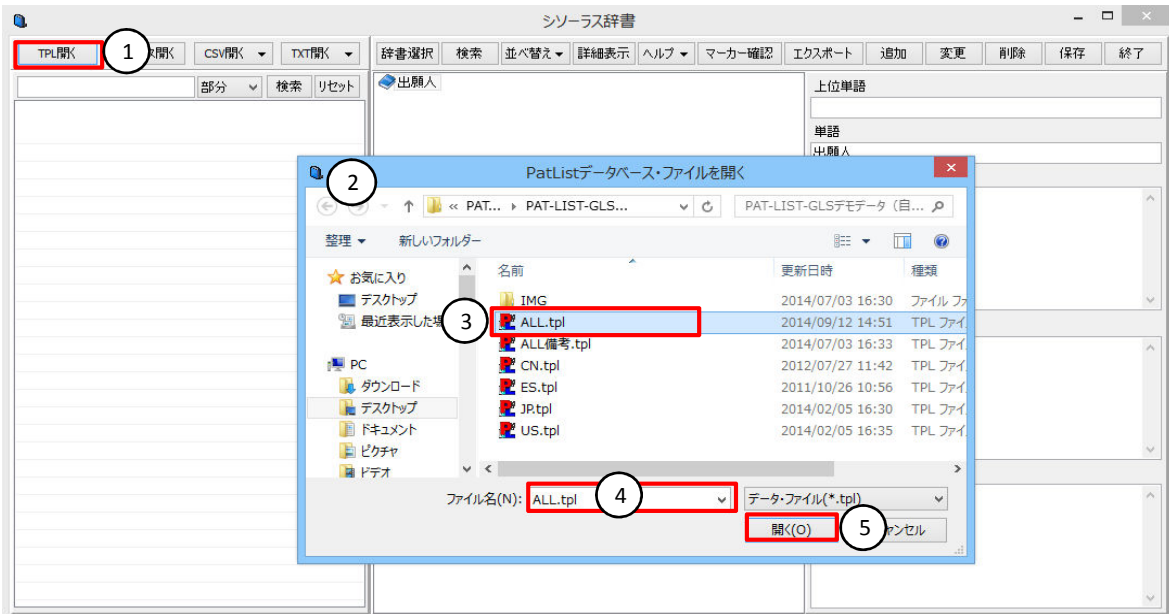
## 3.4.2 TPLからの辞書作成

辞書名称の選択が済みましたら、次に辞書作成の元となるデータの選択へ進みます。

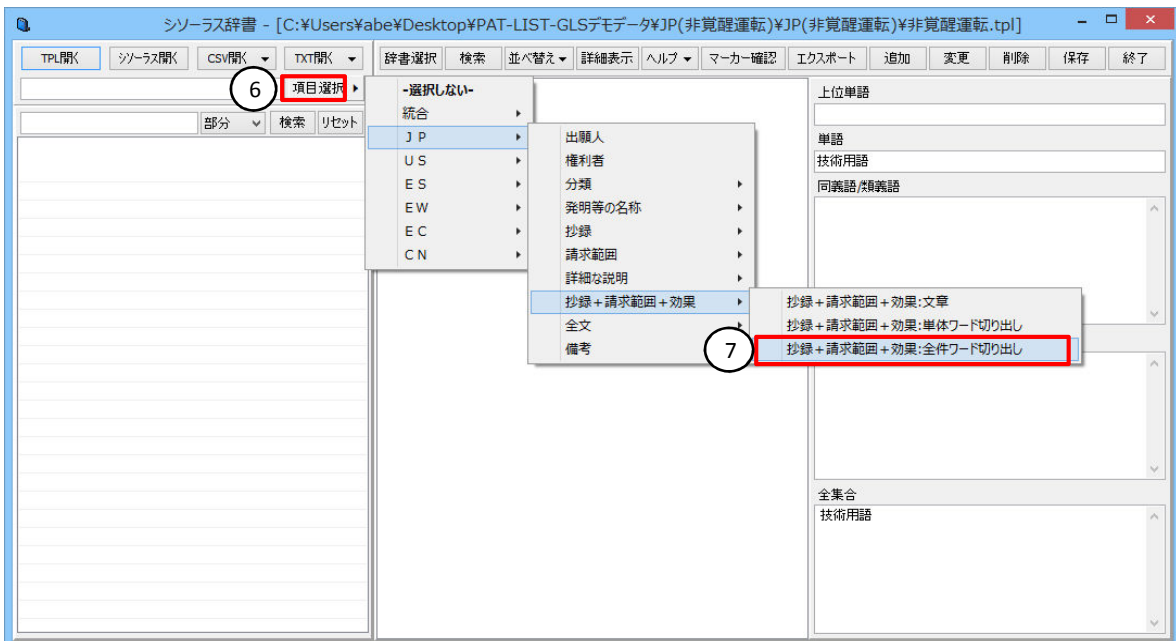
シソーラス辞書は、TPLファイルデータ、既存のシソーラス辞書データ、CSVデータ、TXTデータから作成することができます。CSVデータとTXTデータは、単語リストだけでなく、文書データからも辞書を作成できます。

1) 今回はTPLファイルから作成する場合を説明します。

[TPL開く]ボタン①をクリックします。「PatListデータベース・ファイルを開く」②ウィンドウが表示されます。使用するTPLファイル③を選択して、「ファイル名」欄④に表示されたことを確認した後、「開く」ボタン⑤をクリックします。



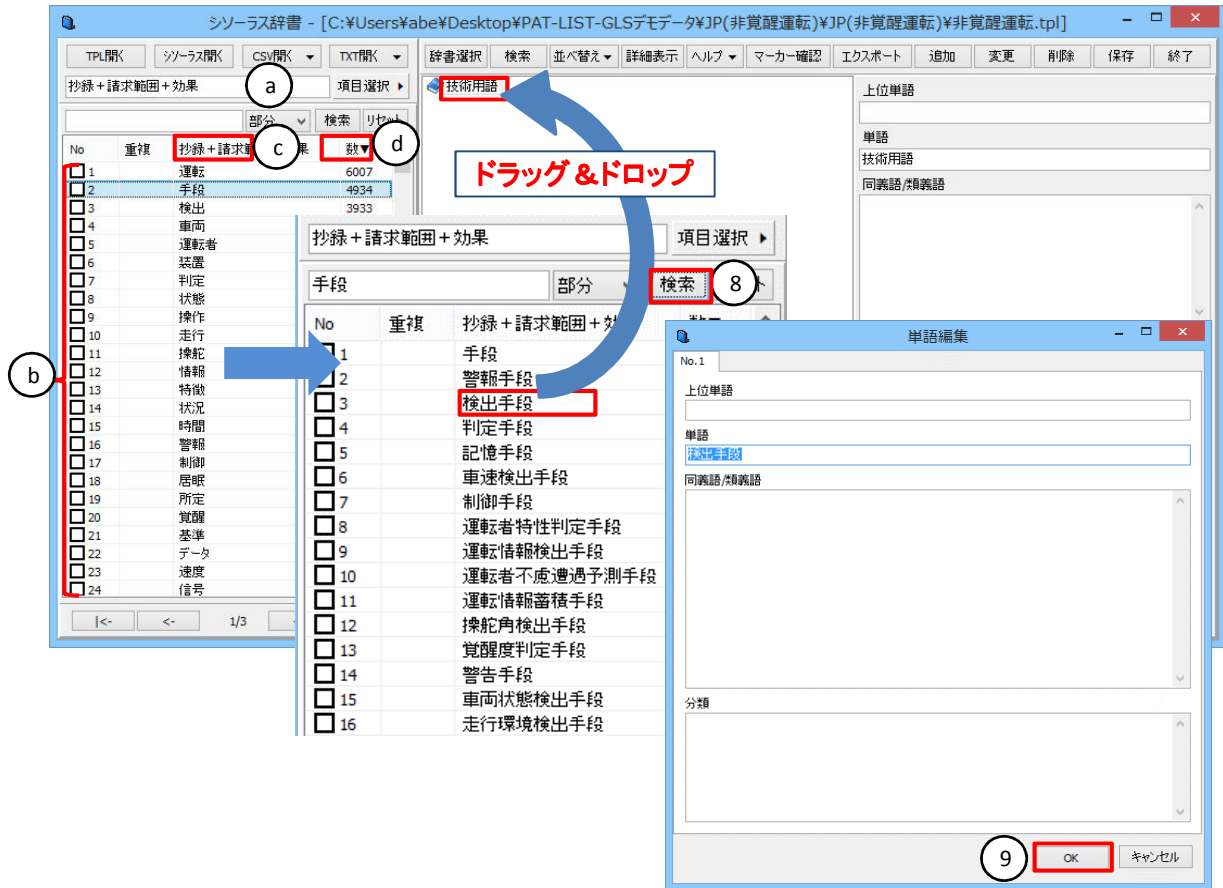
[項目選択]ボタン⑥をクリックし、項目一覧の中から単語を切り出す対象となる項目を選択します。下の図はJPタグの「抄録+請求範囲+効果: 全件ワード切り出し」⑦を選択しているところです。



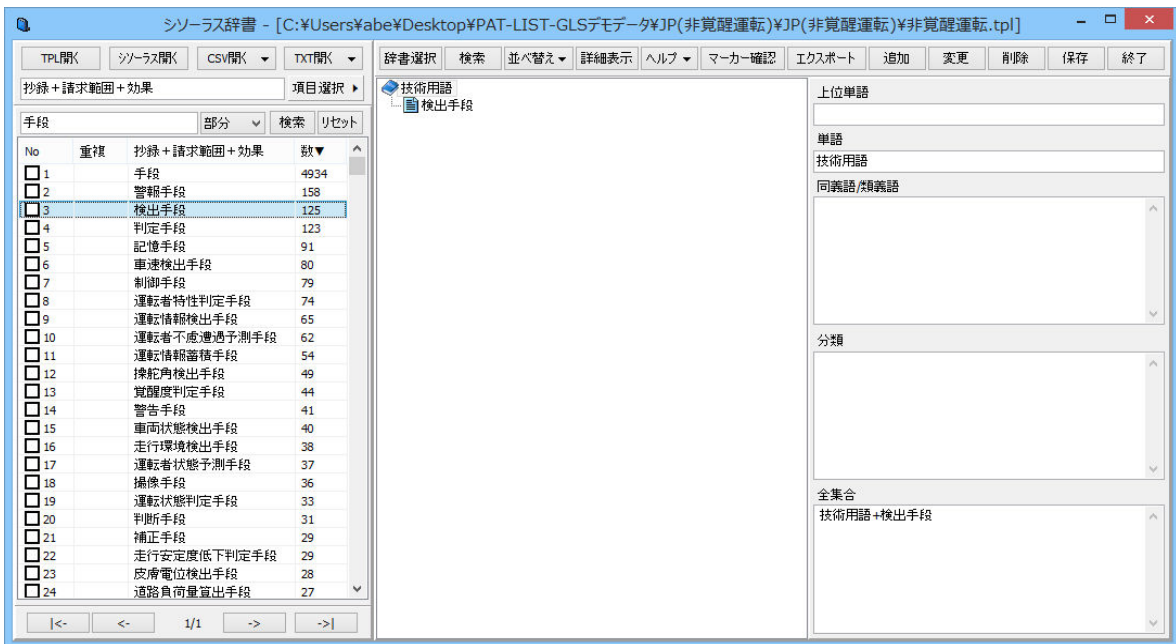
選択した対象項目(a)から切り出された単語(b)が表示されます。

単語は、デフォルトでは、件数の多い順に並んでいます。切り出し単語一覧の見出し「抄録」(c)・「数」(d)の欄をクリックすることにより、単語の並べ方の昇順、降順を切り替えられます。

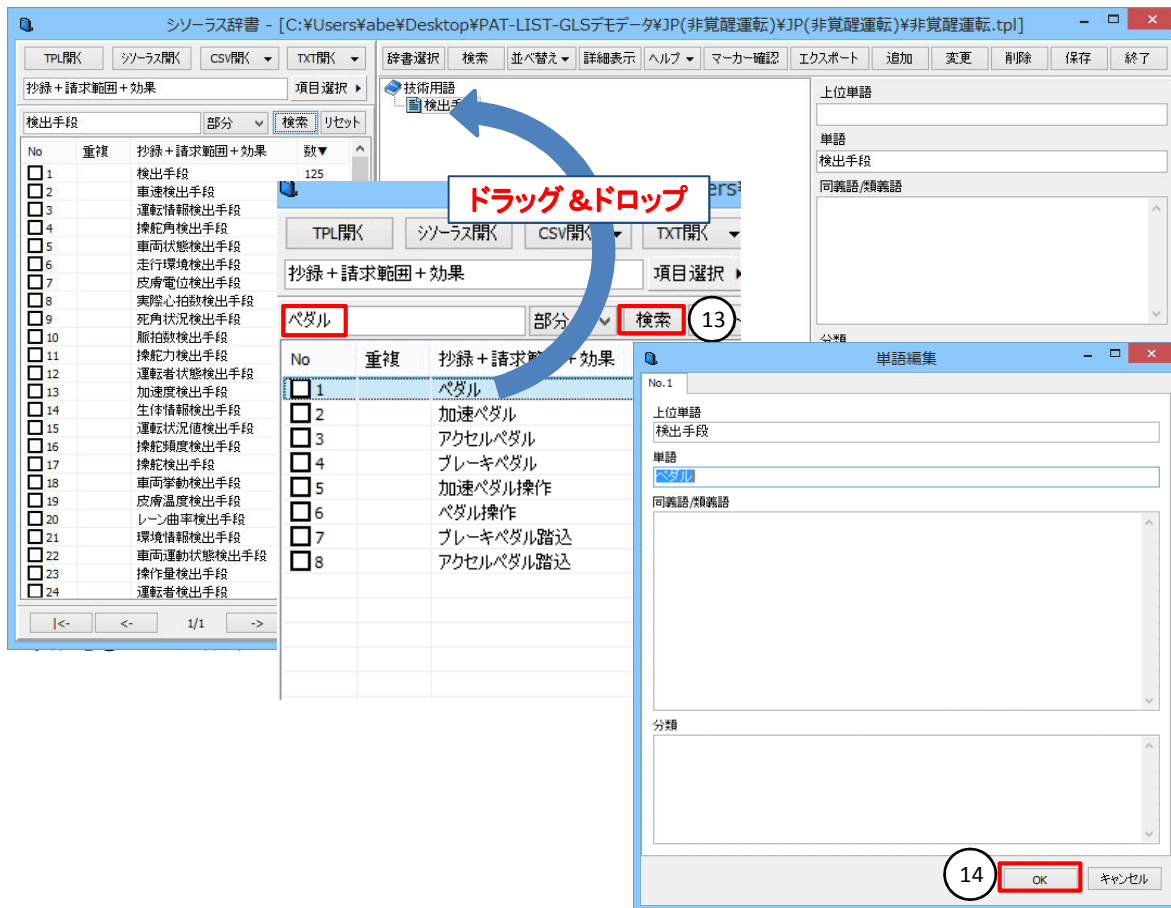
第1階層に、「検出手段」を登録します。「手段」で部分一致検索⑧をし、出てきた一覧の中から「検出手段」を選択し、「技術用語」欄⑨までドラッグすると、ポップアップで「単語編集」画面が表示されます。単語入力セルが、「検出手段」となっていることを確認の上、[OK]ボタン⑨をクリックします。



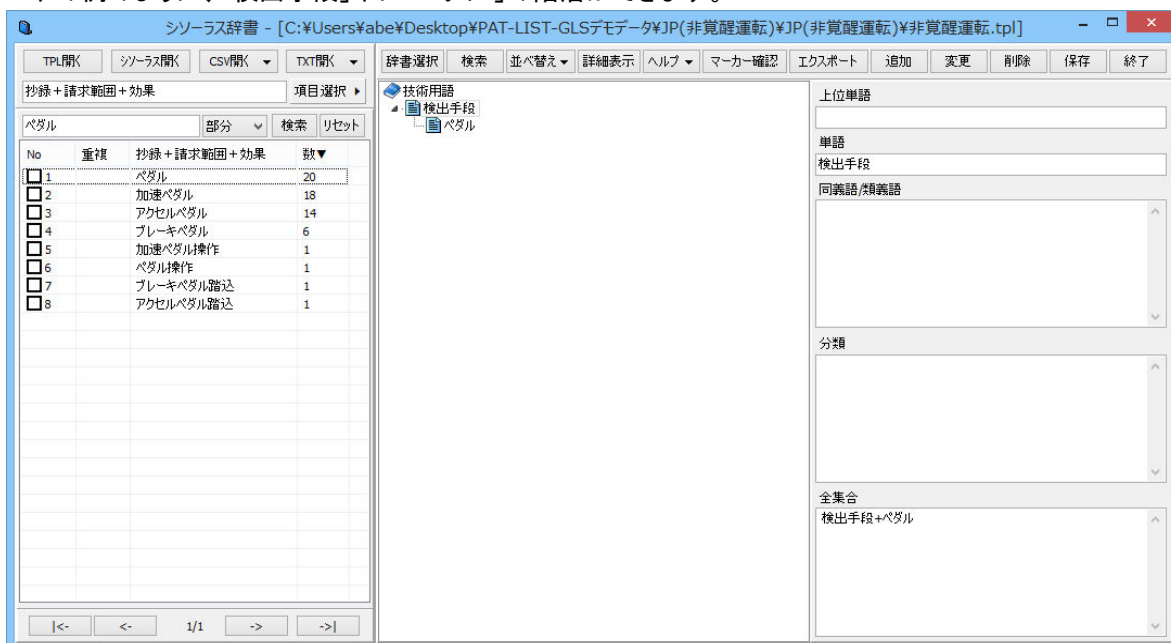
技術用語の下に、「検出手段」の階層ができています。



次に「検出手段」の下位階層の単語を追加します。  
 [ペダル]を含む単語を検索します。  
 検索ワード入力欄に「ペダル」と入力し、「部分」を選択して、[検索]ボタン⑬をクリックします。  
 「ペダル」を「検出手段」欄までドラッグすると、単語編集が面が開きます。内容を確認し、[OK]ボタン⑭をクリックします。



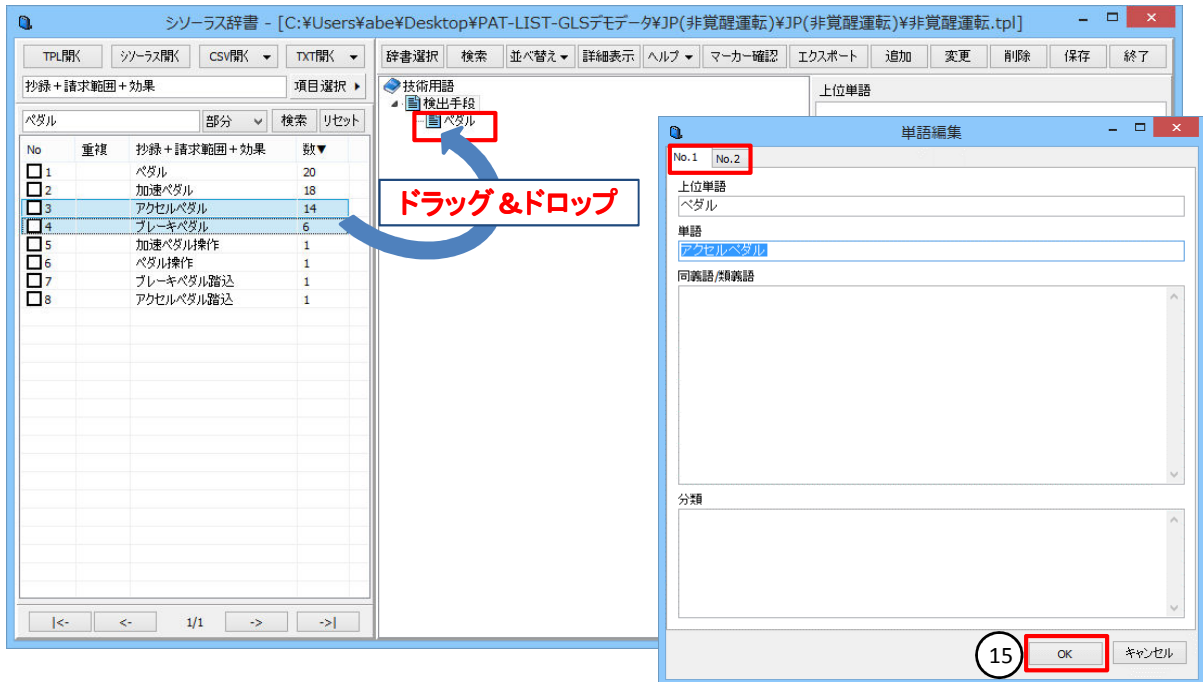
下の例のように、「検出手段」下に「ペダル」の階層ができます。





次に、「ペダル」の下の階層を作成します。

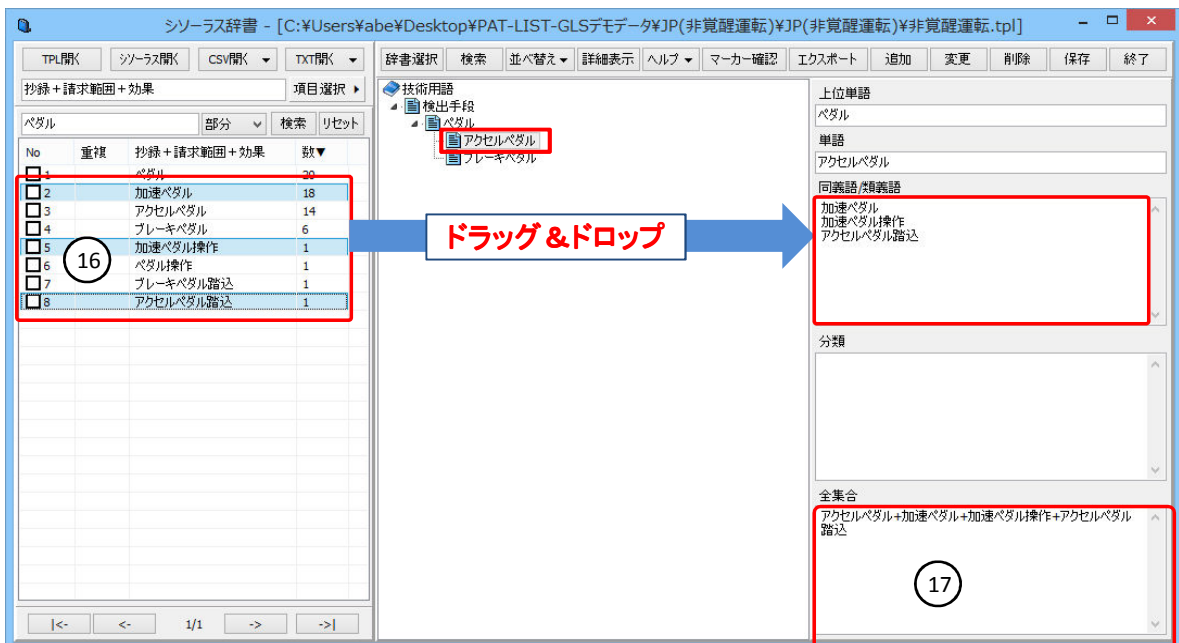
「アクセルペダル」「ブレーキペダル」を「ペダル」欄までドラッグすると、単語編集が面が開きます。内容を確認し、[OK]ボタン⑮をクリックします。



下図のように、3階層目に、「アクセルペダル」「ブレーキペダル」の階層ができています。

また、項目を選択し、そのまま同義語/類義語欄までドラッグ&ドロップ⑯すると、簡単に同義語/類義語が登録できます。

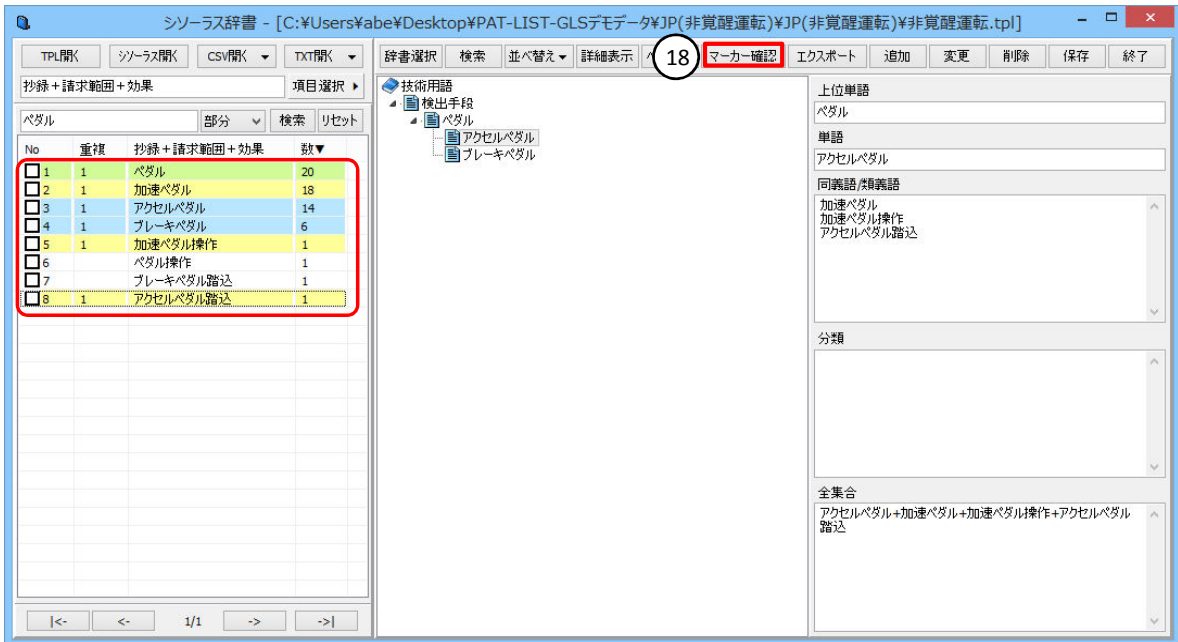
全集合欄に、同義語/類義語を含めて表示されます。



※選択したい単語が離れている場合はCtrlキーで選択できます

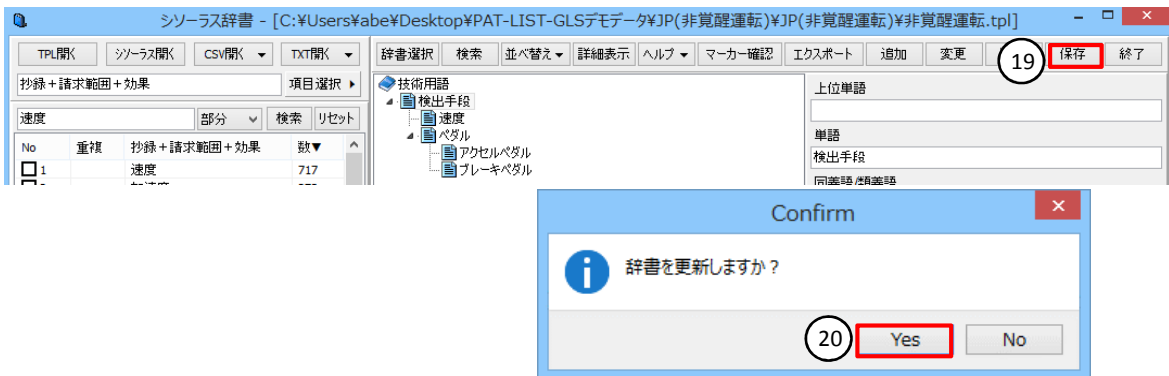
### 3.5 マーカー確認について

マーカー確認ボタンをクリックすると、辞書に登録した単語には階層別にマーカーが付きます。登録漏れがないか確認するときに便利です。

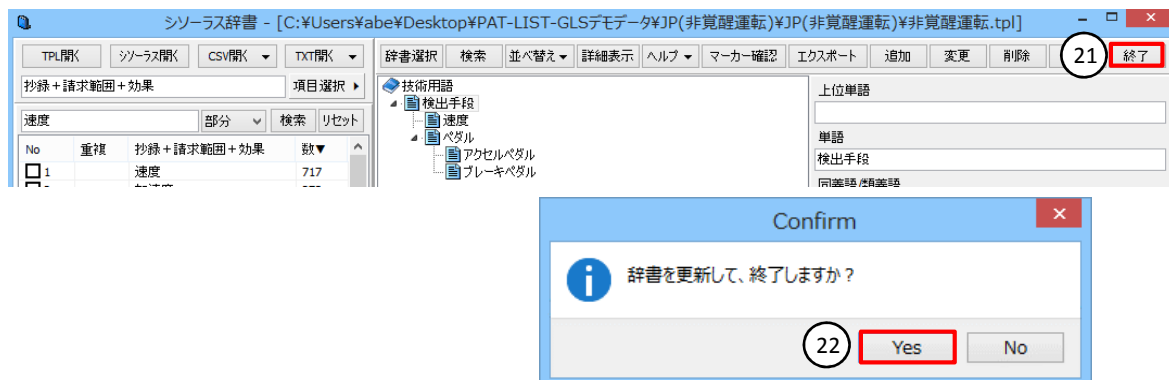


### 3.6 辞書の保存と終了について

辞書の作成が終了したら、「保存」ボタン⑱をクリックして、保存します。辞書を更新しますか？と確認画面が出ますので、「Yes」⑳を押して保存します。



また、辞書の作成終了後、保存せずに「終了」ボタン㉑をクリックした場合、辞書を更新して、終了しますか？と確認画面が出ますので、「Yes」を押して保存します。「No」を押した場合は、保存せずに終了します。



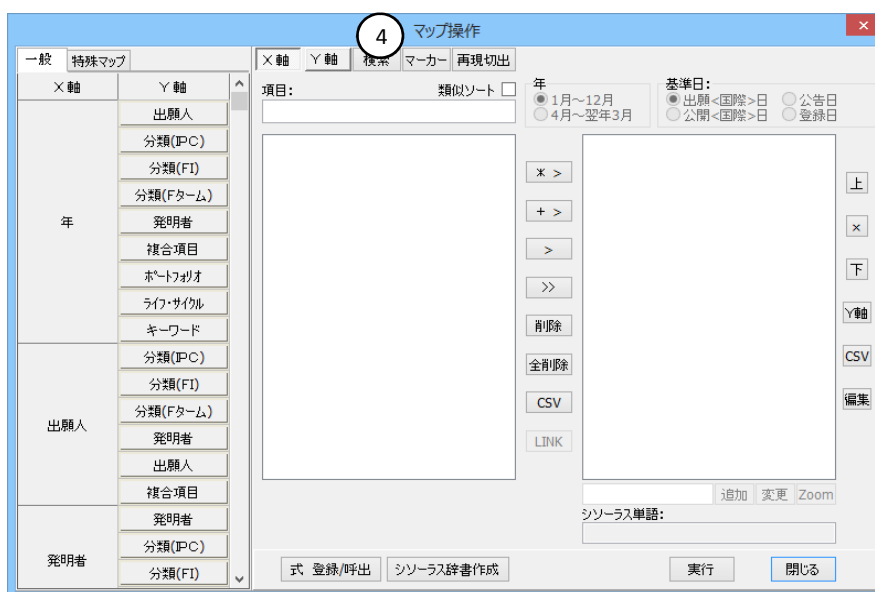
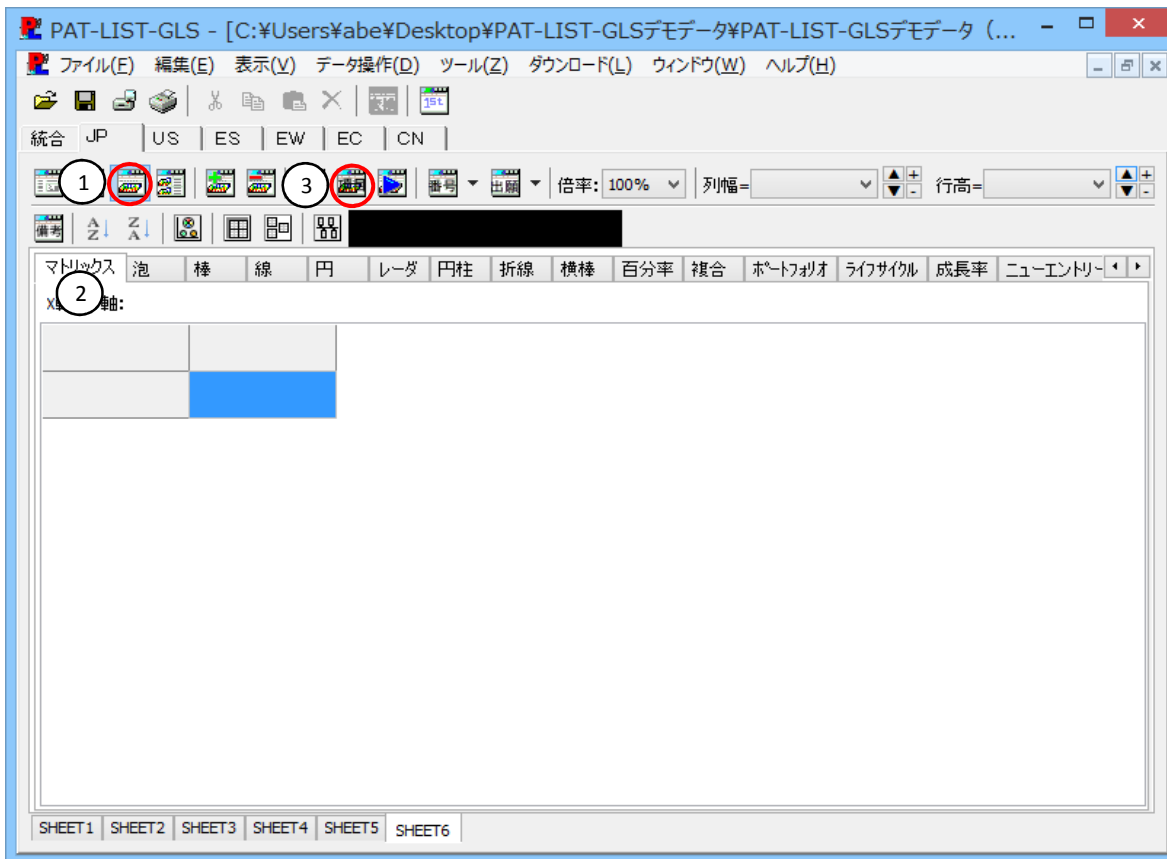
## 第4章 シソーラス辞書を利用したマップ作成

### 4.1 出願人のシソーラス辞書を利用したマップ作成方法

X軸に「年(データありのみ)」、Y軸に「シソーラス(出願人)」を設定する例で、シソーラス辞書を用いたマップ作成を説明します。

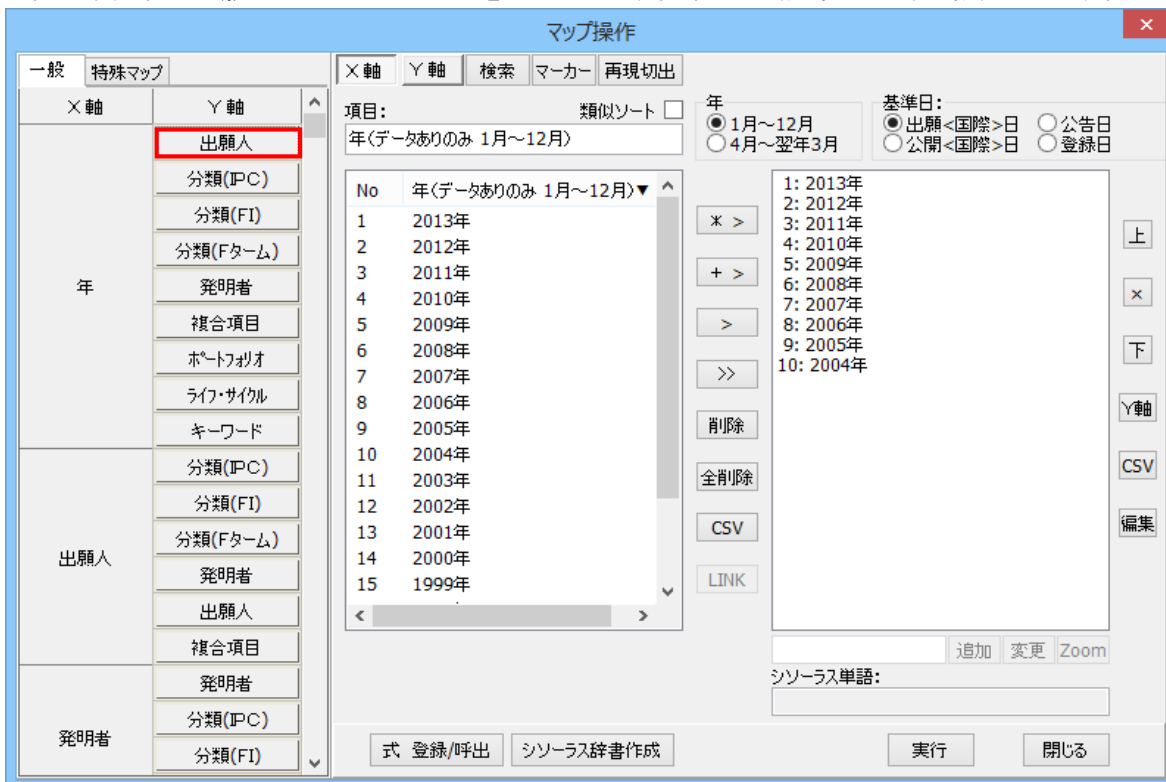
PAT-LIST-GLSを起動して、マップを作成するTPLファイルを開きます。

ツールバーにある[マップボタン]①でマップ画面を表示し、「マトリックス」タブ②を開き、ツールバーにある[項目設定]アイコン③をクリックして、マップ操作ウィンドウ④を開きます。



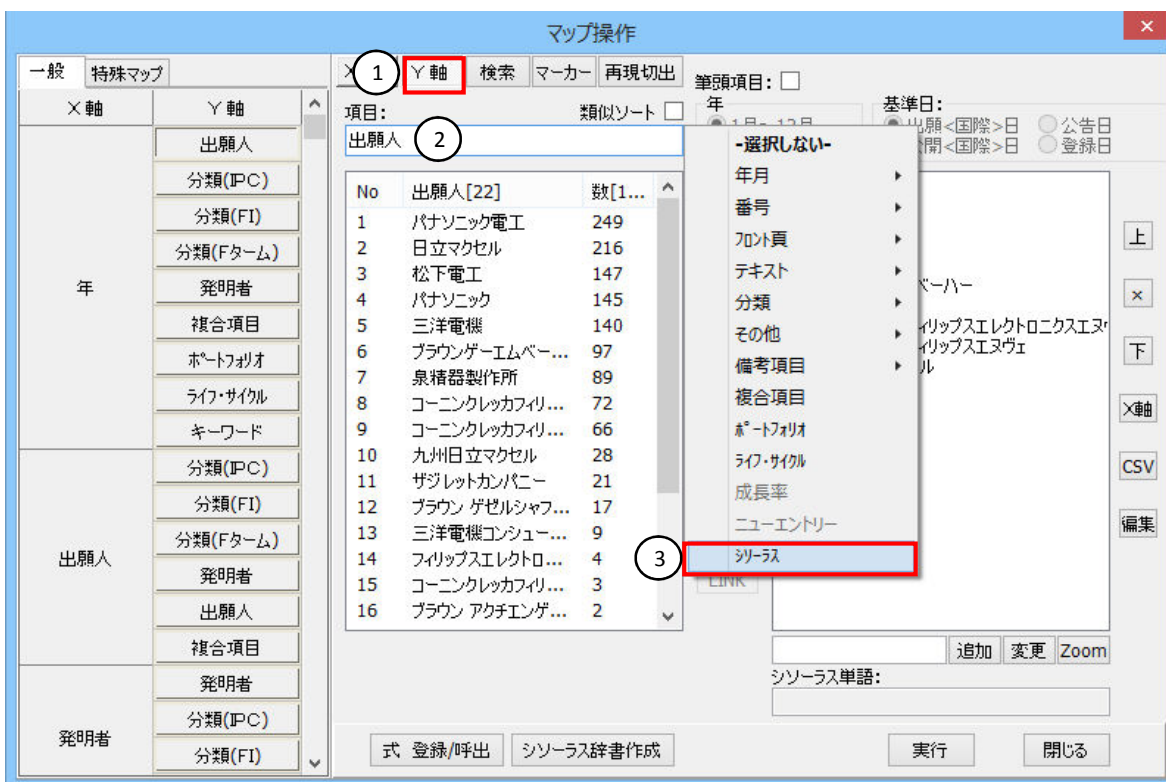
**X軸とY軸の設定(例:年×出願人)**

よく使われるマップは、ワンクリックで作成できるようになっています。  
X軸が年、Y軸が出願人となっているボタンをクリックします。X軸は自動で直近10年が設定されます。

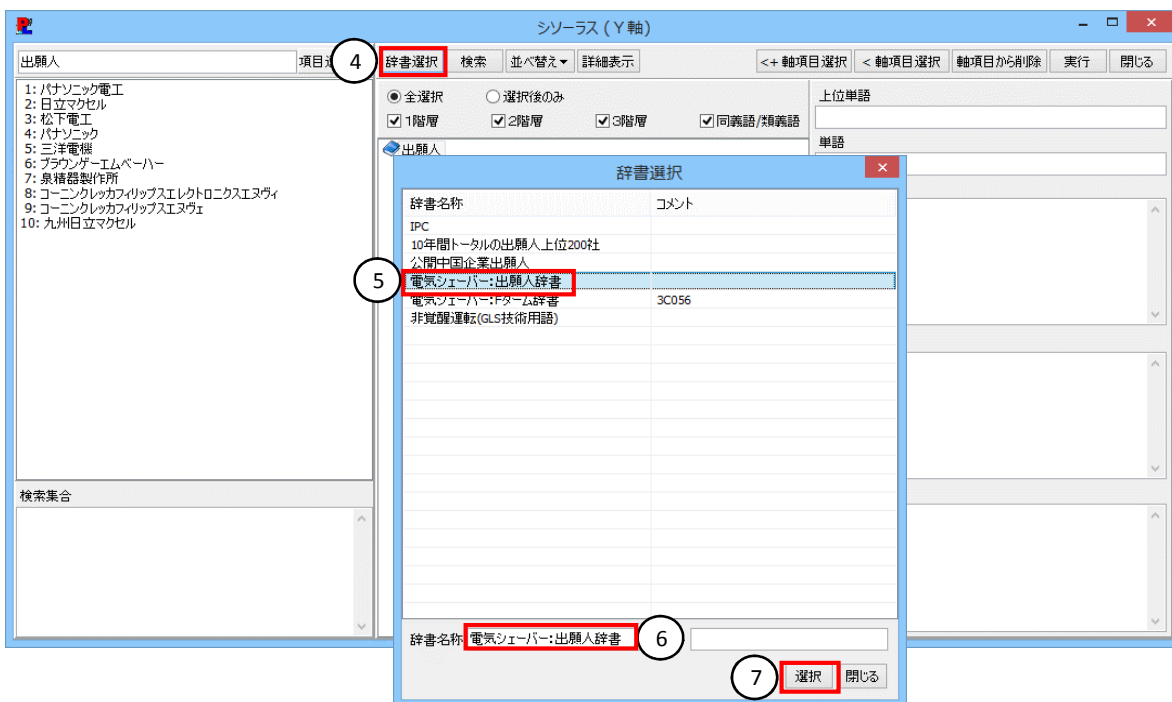


**Y軸(例:シソーラス)**

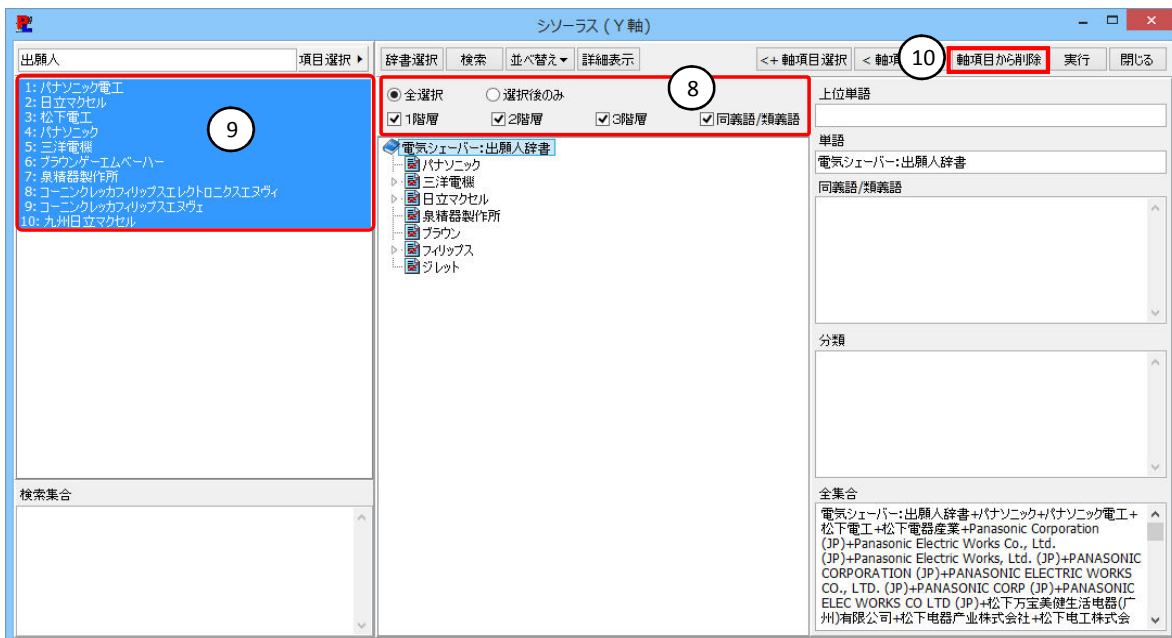
Y軸ボタン①をクリックしてY軸の項目選択に移ります。「項目」欄②をクリックして、項目候補の中から「シソーラス」③を選択します。シソーラス辞書ソフトが自動的に起動し、「シソーラス」ウインドウがポップアップ表示されます。



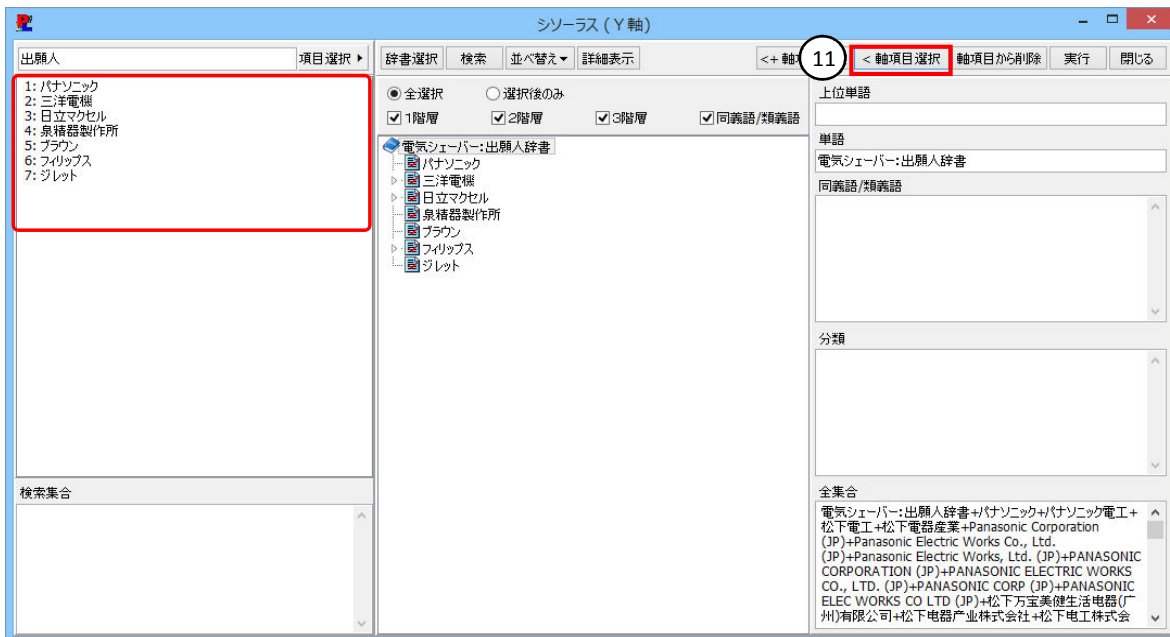
「シソーラス」ウインドウの[辞書選択]ボタン④をクリックします。辞書選択ウインドウが現れ、登録されている辞書名が表示されます。辞書名称一覧から使用する辞書⑤を選択し、「辞書名称」セル⑥に表示されていることを確認してから、「選択」ボタン⑦をクリックします。選択したシソーラス辞書の内容が読み込まれ、表示されます。



デフォルトで、1階層が全選択されています。変更する場合、「全選択」・「選択後のみ」どちらかを選択し、階層の設定⑧をします。ここで選択した階層が、マップ軸に設定できます。もともと設定された軸項目を全選択⑨し、軸項目から削除⑩します。



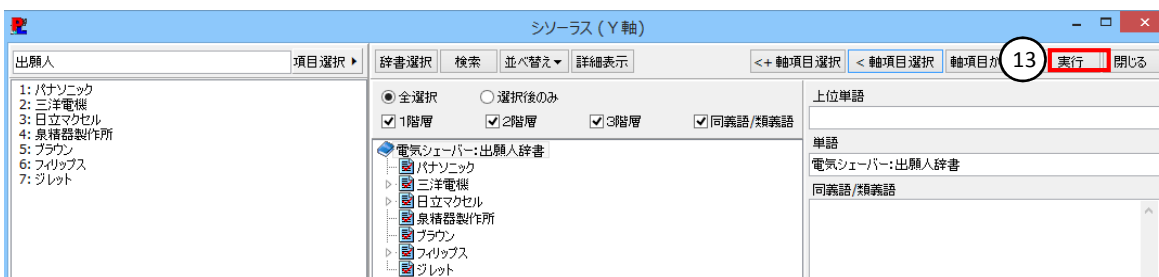
赤いチェックマーク(しおり)がついた状態で[<軸項目選択]⑪をクリックすると、選択した項目が左の軸項目欄に移り、それぞれの項目を軸としたマップ作成となります。



また、[<+軸項目選択]⑫をクリックすると、それぞれの項目を足して軸としたマップ作成となります。

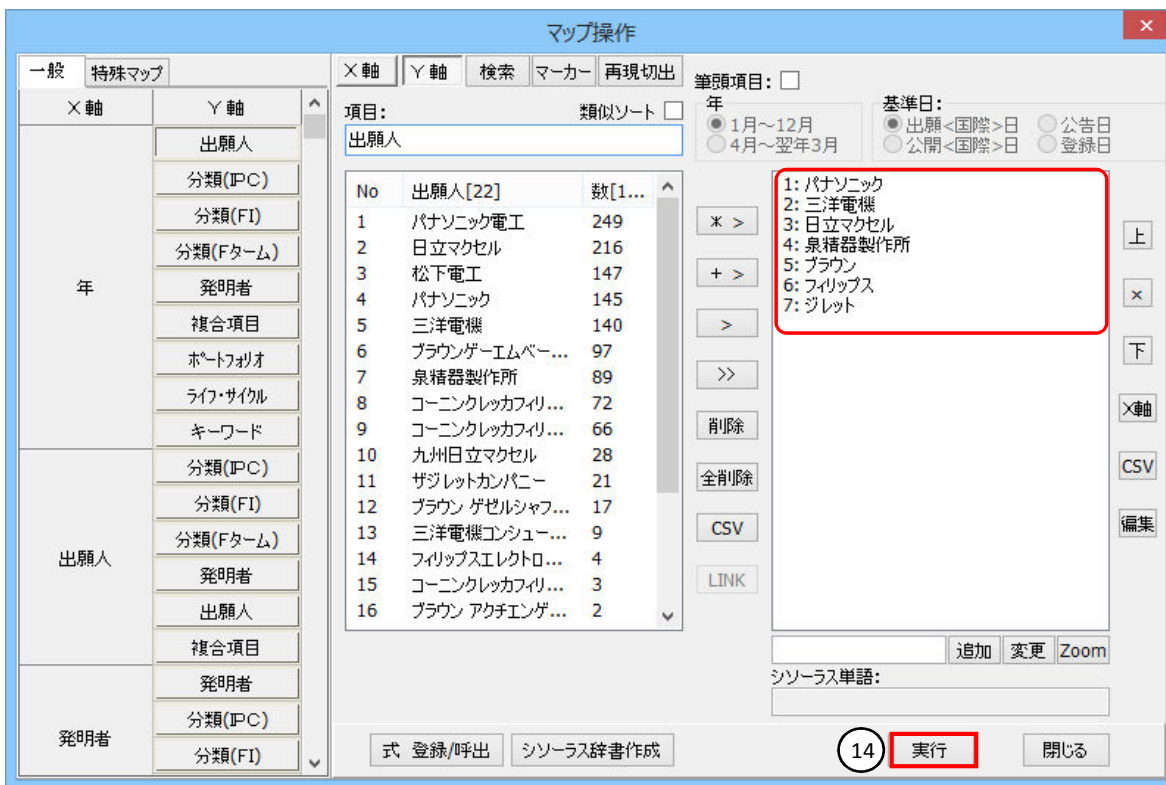


軸項目の設定が完了したら、[実行]⑬ボタンをクリックします。

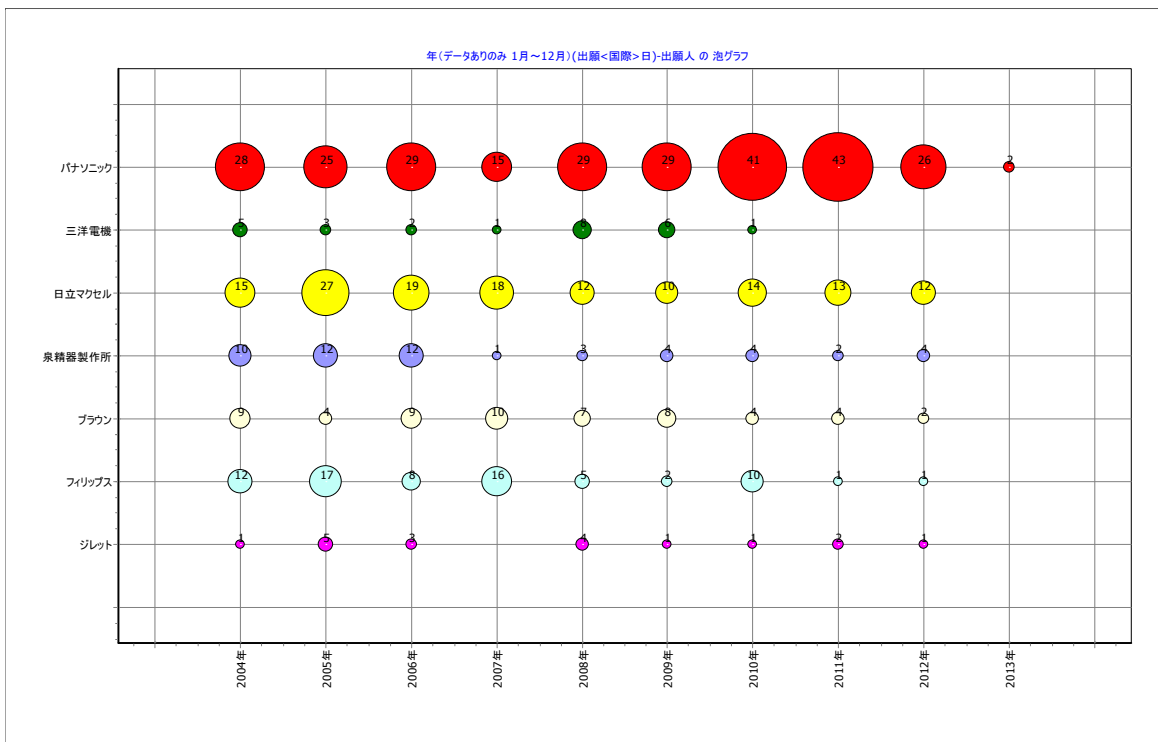




マップ操作画面に戻り、Y軸の設定を確認後、[実行]ボタン⑭をクリックします。



X軸に「年(データありのみ)」、Y軸に「シソーラス(出願人)」のマップが完成しました。

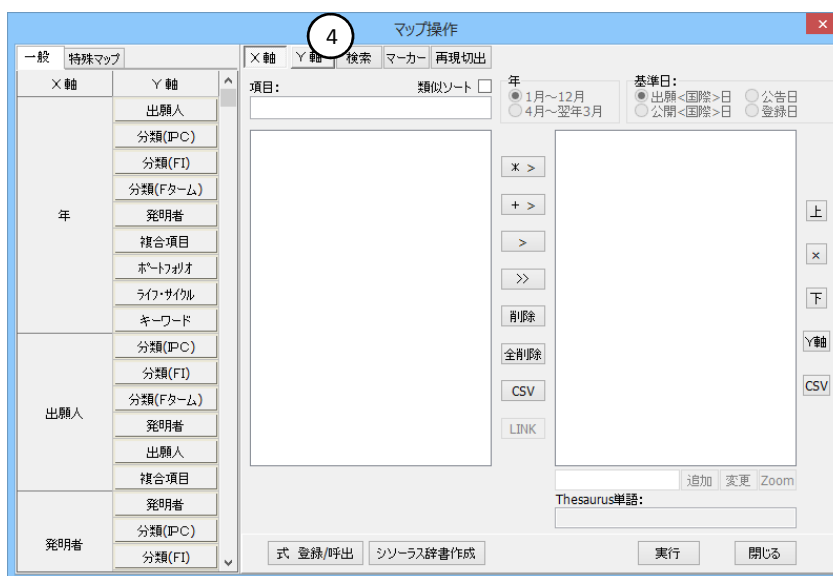
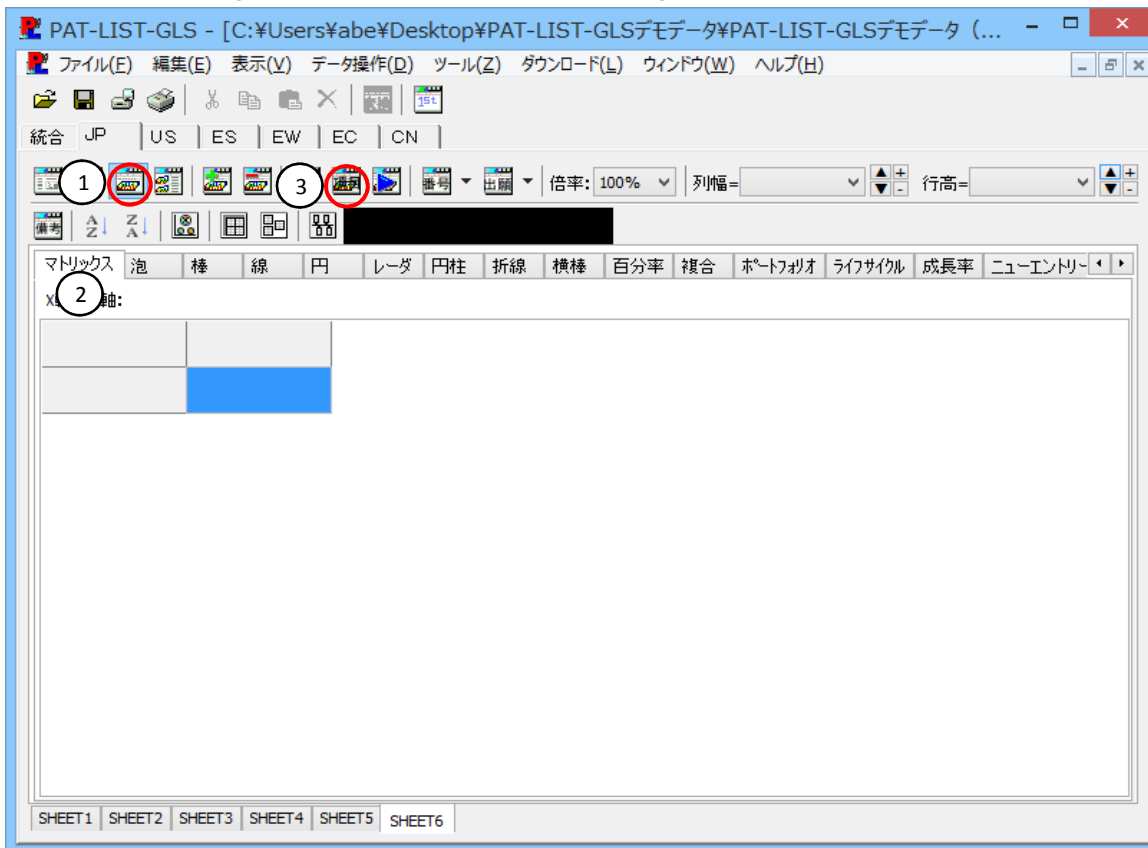


## 4.2 Fタームのシソーラス辞書を利用したマップ作成方法

X軸に「年(データありのみ)」、Y軸に「シソーラス(Fターム)」を設定する例で、シソーラス辞書を用いたマップ作成を説明します。

PAT-LIST-GLSを起動して、マップを作成するTPLファイルを開きます。

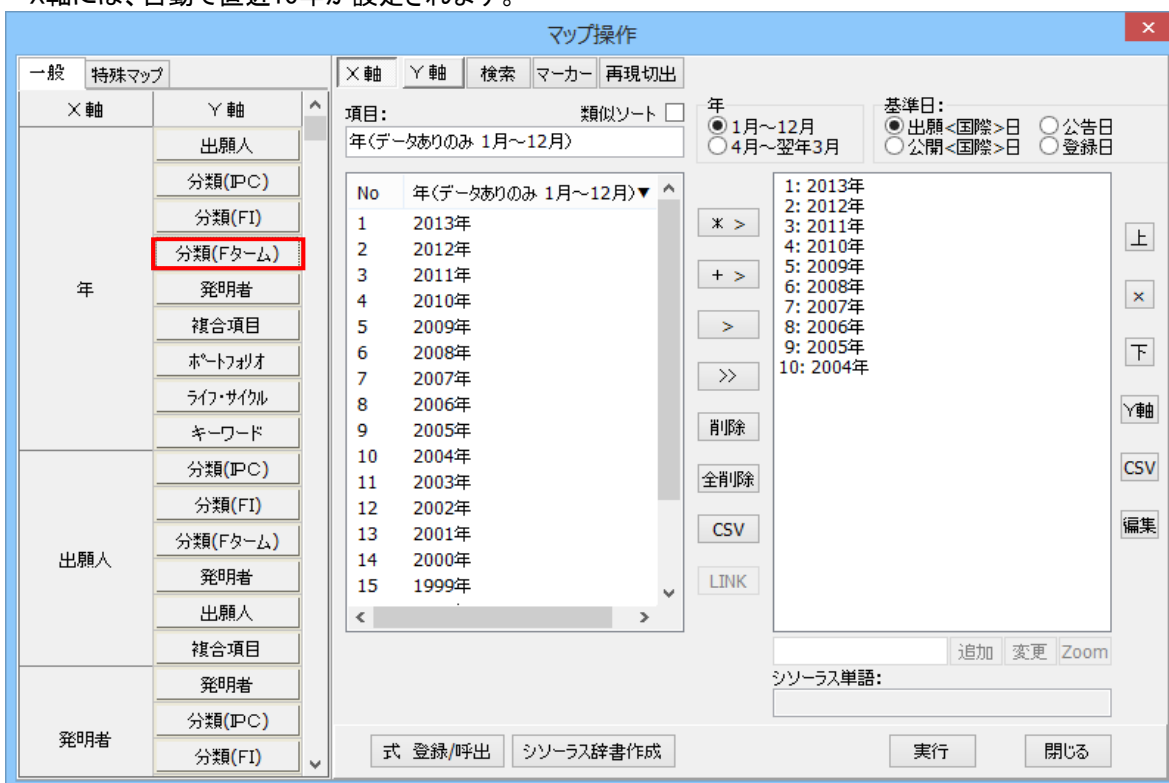
ツールバーにある[マップボタン]①でマップ画面を表示し、「マトリックス」タブ②を開き、ツールバーにある[項目設定]アイコン③をクリックして、マップ操作ウィンドウ④を開きます。





**X軸とY軸の設定(例:年×Fターム)**

X軸が年、Y軸が分類(Fターム)となっているボタンをクリックします。  
 X軸には、自動で直近10年が設定されます。

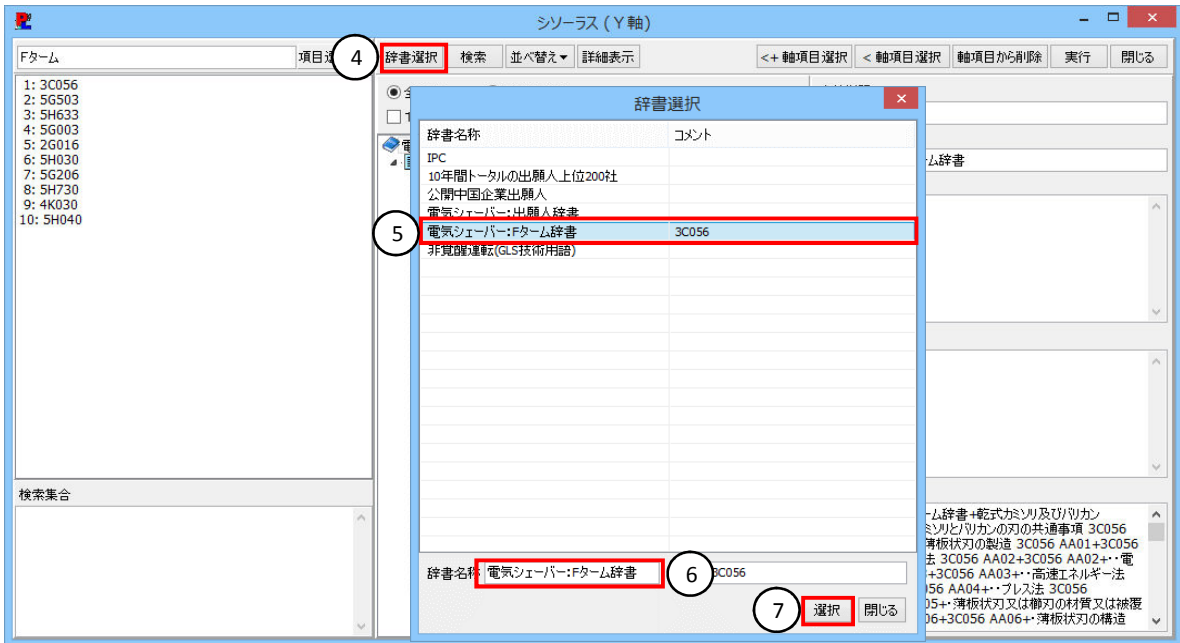


**Y軸(例:シソーラス)**

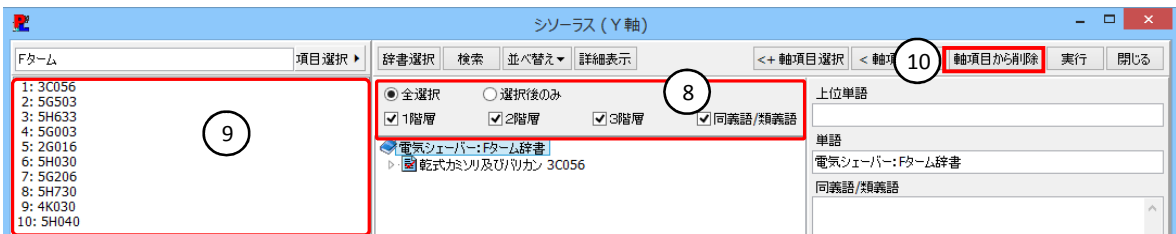
Y軸ボタン①をクリックしてY軸の項目選択に移ります。「項目」欄②をクリックして、項目候補の中から「シソーラス」③を選択します。シソーラス辞書ソフトが自動的に起動し、「シソーラス」ウインドウがポップアップ表示されます。



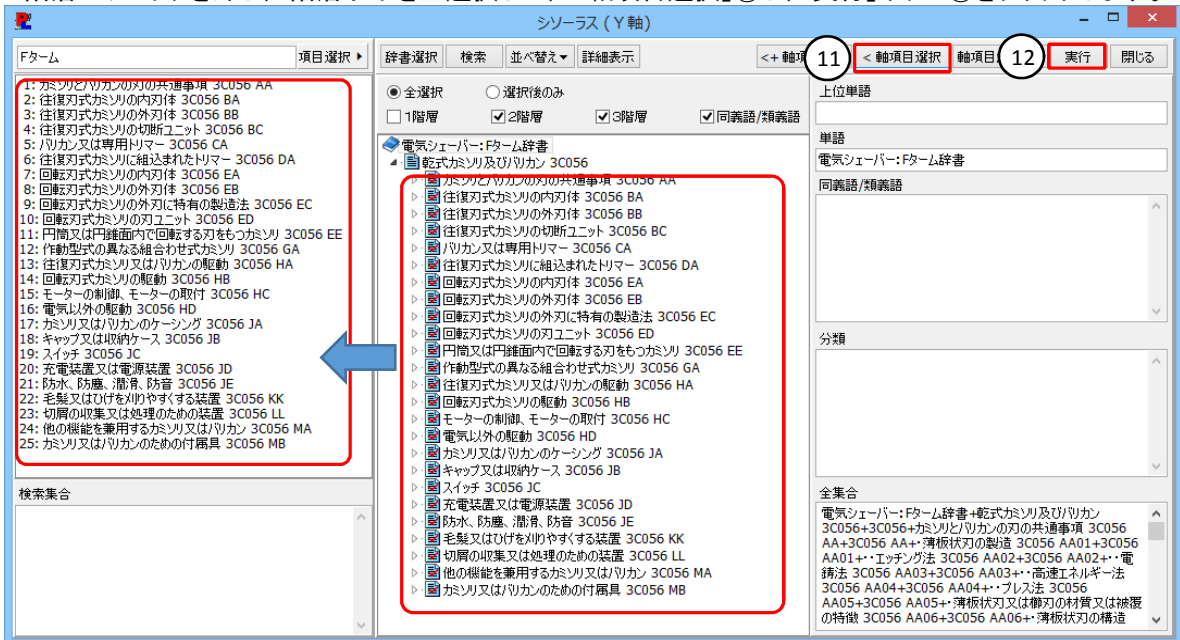
「シソーラス」ウインドウの[辞書選択]ボタン④をクリックします。辞書選択ウインドウが現れ、登録されている辞書名が表示されます。辞書名称一覧から使用する辞書⑤を選択し、「辞書名称」セル⑥に表示されていることを確認してから、「選択」ボタン⑦をクリックします。選択したシソーラス辞書の内容が読み込まれ、表示されます。



デフォルトで、1階層が全選択されています。変更する場合、「全選択」・「選択後のみ」どちらかを選択し、階層の設定⑧をします。ここで選択した階層が、マップ軸に設定できます。もともと設定された軸項目を全選択⑨し、軸項目から削除⑩します。

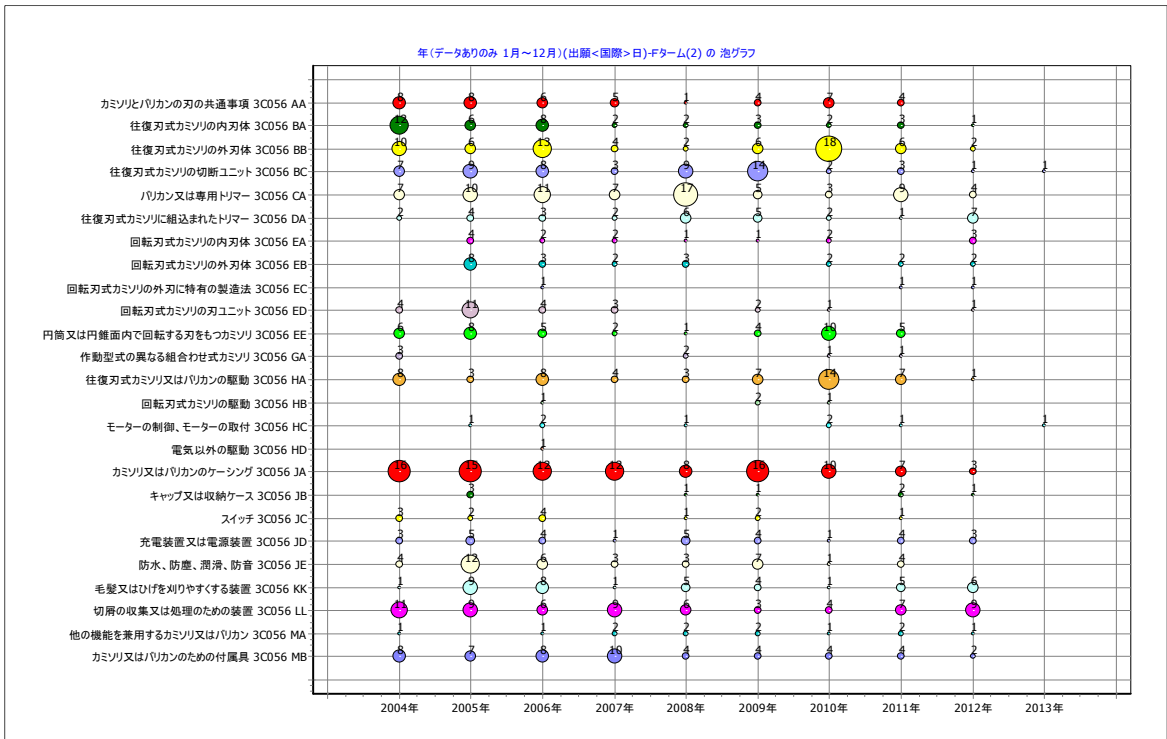


1階層のチェックを外し、2階層以下を全選択して、「<軸項目選択」⑪し、「実行」ボタン⑫をクリックします。



マップ操作画面に戻り、Y軸の設定を確認後、[実行]ボタン⑬をクリックします。

X軸に「年(データありのみ)」、Y軸に「シソーラス(Fターム)」のマップが完成しました。

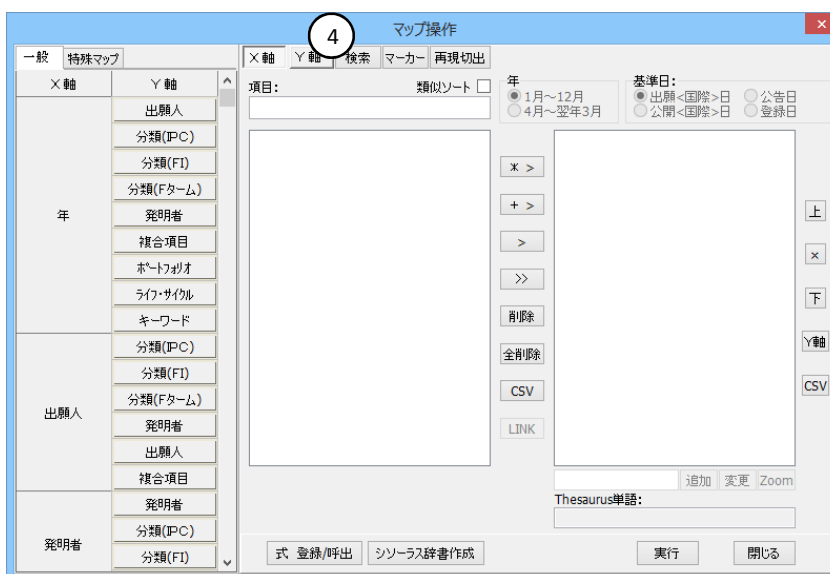
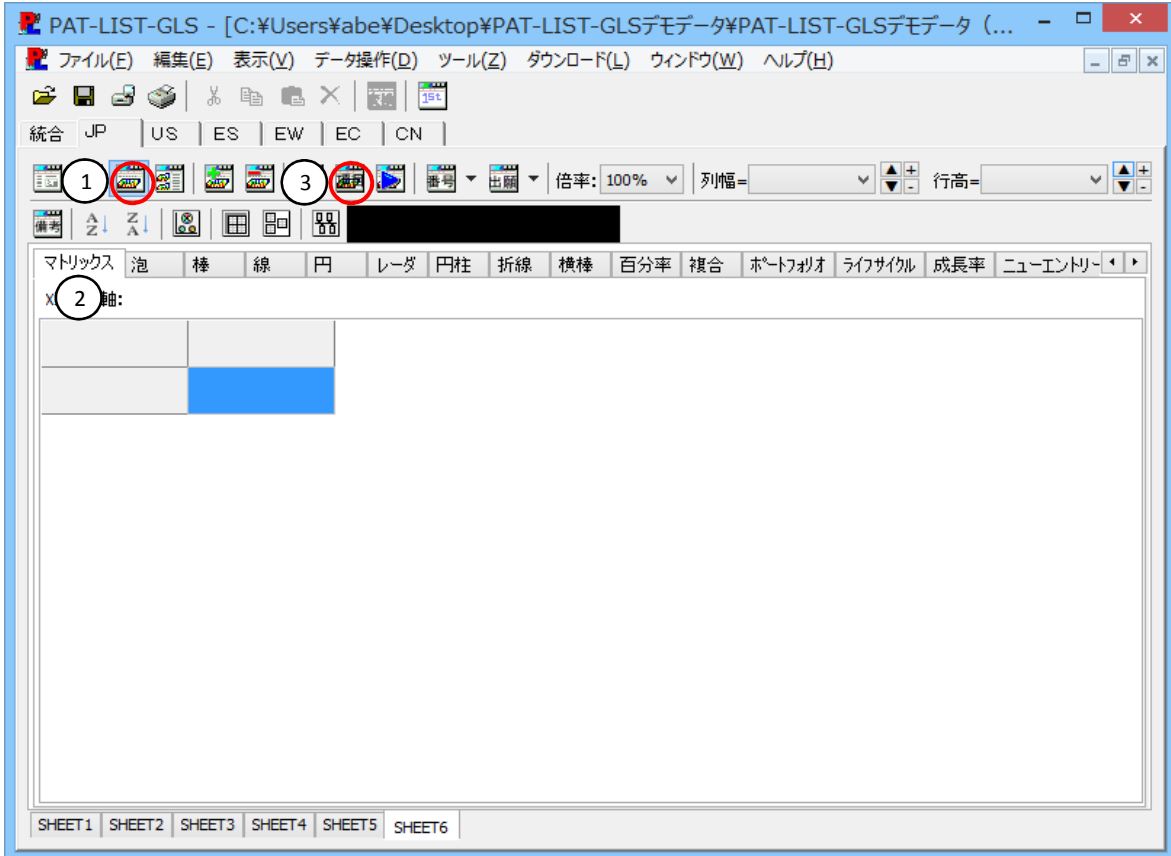


### 4.3 技術用語のシソーラス辞書を利用したマップ作成方法

X軸に「シソーラス(技術用語)」、Y軸に「発明者」を設定する例で、シソーラス辞書を用いたマップ作成を説明します。

PAT-LIST-GLSを起動して、マップを作成するTPLファイルを開きます。

ツールバーにある[マップボタン]①でマップ画面を表示し、「マトリックス」タブ②を開き、ツールバーにある[項目設定]アイコン③をクリックして、マップ操作ウィンドウ④を開きます。





**X軸とY軸の設定(例: 技術用語×発明者)**

X軸が年、Y軸が分類(Fターム)となっているボタンをクリックします。

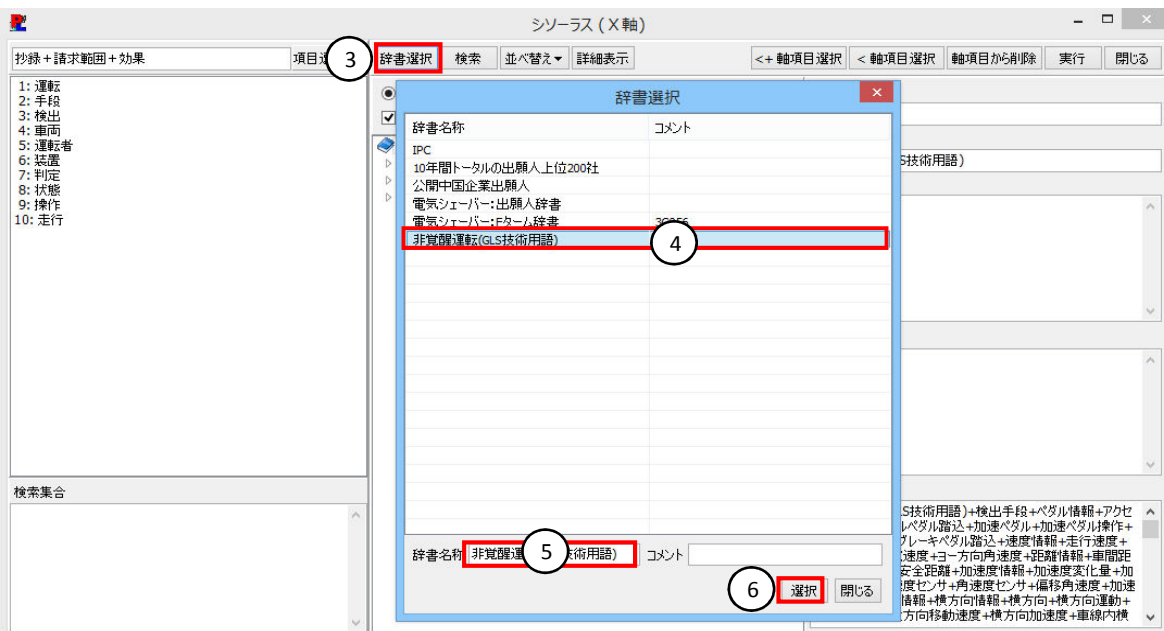


**X軸(例: シソーラス)**

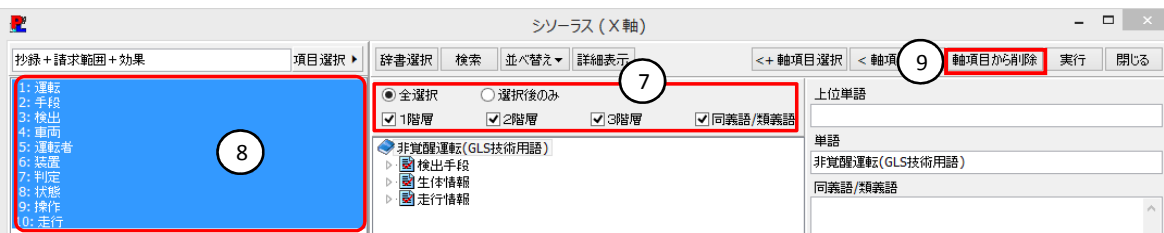
「項目」欄①でクリックして、項目候補の中から「シソーラス」②を選択します。シソーラス辞書ソフトが自動的に起動し、「シソーラス」ウインドウがポップアップ表示されます。



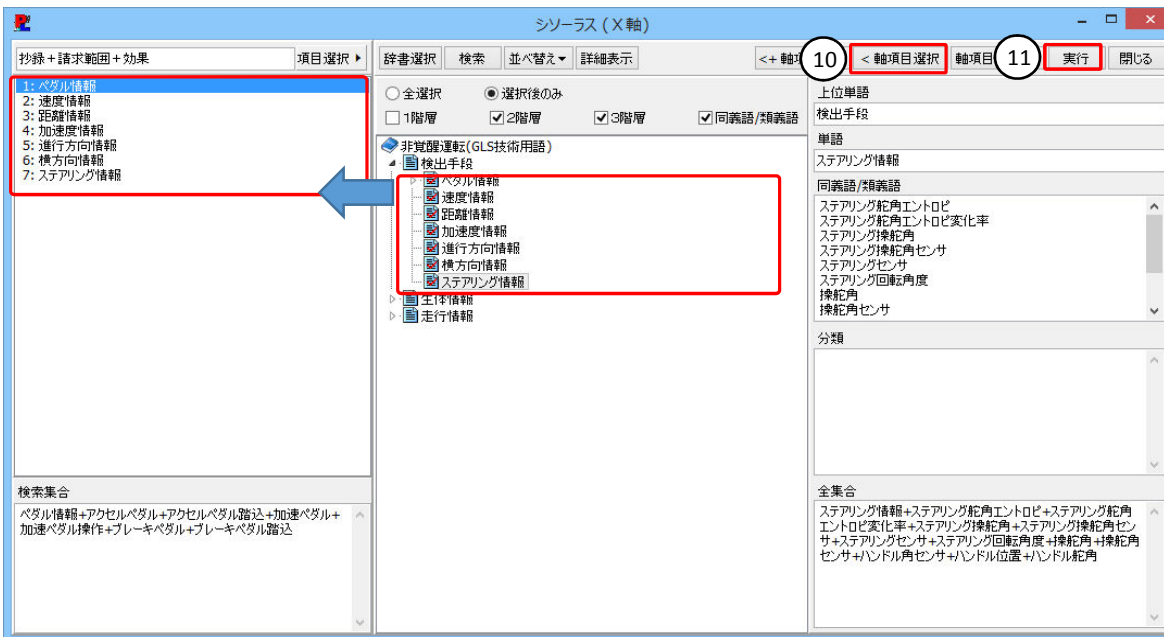
「シソーラス」ウインドウの[辞書選択]ボタン①をクリックします。辞書選択ウインドウが現れ、登録されている辞書名が表示されます。辞書名称一覧から使用する辞書②を選択し、「辞書名称」セル③に表示されていることを確認してから、「選択」ボタン④をクリックします。選択したシソーラス辞書の内容が読み込まれ、表示されます。



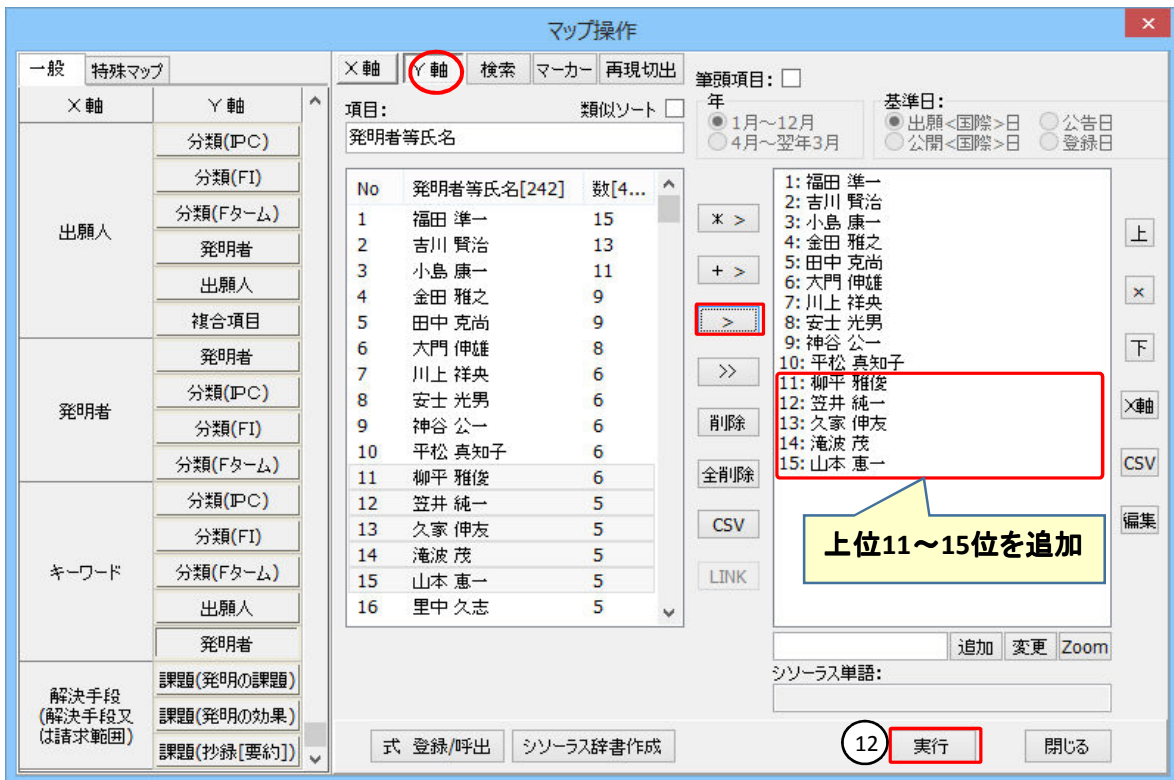
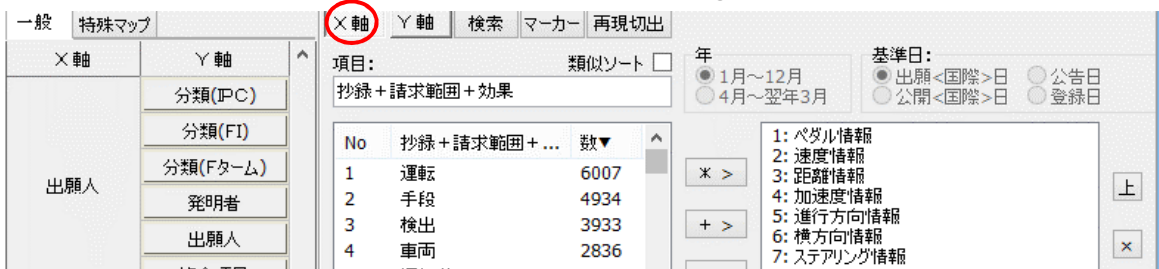
デフォルトで、1階層が全選択されています。変更する場合、「全選択」・「選択後のみ」どちらかを選択し、階層の設定⑦をします。ここで選択した階層が、マップ軸に設定できます。もともと設定された軸項目を全選択⑧し、軸項目から削除⑨します。



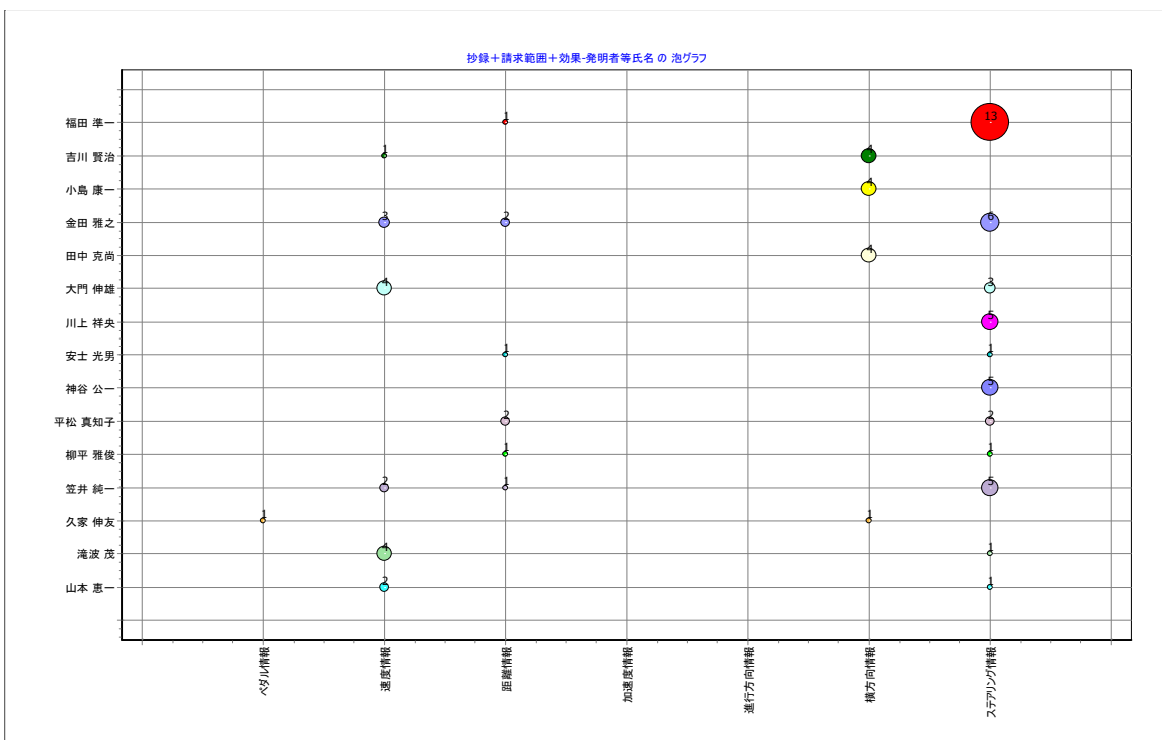
2階層検出手段以下を選択して、「<軸項目選択」⑩し、「実行」ボタン⑪をクリックします。



マップ操作画面に戻り、X軸・Y軸の設定を確認後、[実行]ボタン⑫をクリックします。



X軸に「技術用語」、Y軸に「発明者」のマップが完成しました。



## 改訂履歴

項番	改訂年月日	改訂項目	改訂内容
1	2014. 11. 14	全体	説明内容の見直しによる修正、レイアウト修正、注意点の追加

改訂	第二版	2014. 11. 14
初版		2014. 9. 18



---

## <お問合せ>



■東京本社 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-9 第七東ビル 7階  
TEL 03-5577-5898 FAX 03-5577-5898

■名古屋支社 〒460-0003 名古屋市中区錦 3-11-25 アーク栄錦ニュービジネスビル 5階  
TEL 052-228-9260

ホームページ <http://www.raytec.co.jp> 電子メール [info@raytec.co.jp](mailto:info@raytec.co.jp)